業務報告

令和７年度

SAITEC 埼玉県産業技術総合センター
SAitama Industrial TEchnology Center

目次

1　埼玉県産業技術総合センター概要 5

1.1　沿革 5

1.2　組織と事務分掌 6

1.3　所在地、土地建物 7

1.4　会計（決算） 8

1.5　貸会議室等 9
1.5.1　多目的ホール、会議室の使用料等 9
1.5.2　多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数 9
1.5.3　多目的ホール、会議室の利用者別利用件数 9
1.5.4　多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数 9

1.6　試験研究設備の整備状況 10

2　技術支援 11

2.1　技術相談・技術指導 11

2.2　依頼試験 14
2.2.1　依頼試験 14
2.2.2　技能試験への参加 15

2.3　機器利用 15
2.3.1　機器利用 15
2.3.2　機器操作技術認定研修 16

2.4　DX 支援事業 16
2.4.1　AI・IoT 導入支援 16
2.4.2　3D データ活用支援 16

2.5　培養酵母等の頒布 16

2.6　支援基盤の整備 17
2.6.1　職員研修 17

3　研究開発支援 20

3.1　研究開発 20
3.1.1　政策的研究課題 20
3.1.2　受託研究等 21
3.1.3　科学研究費助成事業（科研費） 21

3.2　客員研究員 22

3.3　研究成果の公表 22
3.3.1　センター主催の発表 22
3.3.2　学会等への発表 23

3.4　研究課題の評価 25
3.4.1　研究評価委員会 25
3.4.2　中間報告 25

3.5　産学官連携の推進 25

3.5.1 産学官連携推進について 25
3.5.2 産学官連携関連展示会（主催事業） 25
3.5.3 産学官連携に関連する展示会 26
3.6 助成制度等への取組 26
3.6.1 研究開発型企業支援 26
3.7 特許の取得推進とその活用 27
3.7.1 産業財産権の一覧 27
3.7.2 実施許諾 29
4 事業化支援 30
4.1 製品開発支援 30
4.1.1 現場改善・製品化支援事業 30
4.1.2 ＳＡＩＴＡＭＡデザインイノベーション事業 30
4.1.3 技術支援等による実用化・商品化 31
4.1.4 食の再資源化トライアル拠点としての技術支援 31
4.2 創業・起業支援 32
4.2.1 入居企業 32
4.2.2 支援実績 32
5 技術交流・連携 33
5.1 新技術情報交流支援（研究会・交流会の開催） 33
5.1.1 鋳物技術委員会 33
5.1.2 埼玉県熱処理技術研究会 33
5.1.3 清酒製造技術研究会 33
5.1.4 埼玉県デジタルものづくり研究会 34
5.2 首都圏公設試験研究機関連携体（TKF） 35
5.2.1 首都圏公設試連携推進会議の開催（第 65 回） 35
5.2.2 パートナー・グループ事業 35
5.2.3 ＴＫＦミニインターンシップ事業 35
5.3 広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP） 36
5.4 RINGS NET（新潟、群馬、埼玉 3 県公設試連携） 36
5.5 大学との連携 36
5.5.1 県内大学等との連携 36
5.6 講演会等講師派遣 37
5.7 技術評価等派遣 38
5.8 会議等への参加 38
5.9 異業種交流支援事業 44
5.9.1 産学官交流プラザ 44
5.10 科学技術体験学習の実施 44
5.10.1 スーパーサイエンスハイスクール事業 44
5.11 埼玉県立高等技術専門校との連携による取組 45
5.11.1 特別講習会 45
5.12 関連機関等との連携強化 45

6　人材育成 46

6.1　研修生の受入れ 46
6.1.1　中小企業等研究者養成研修事業 46
6.1.2　埼玉県庁インターンシップ事業 46

6.2　技術講習会、講演会等の開催 47

6.3　技術競技会 52
6.3.1　埼玉県鋳造技術コンクール 52
6.3.2　令和7酒造年度春季清酒鑑評会 53

7　情報提供 54

7.1　技術普及業務 54
7.1.1　SAITEC オープンラボ 54
7.1.2　SAITEC 北部研究所研究・支援成果発表会 54
7.1.3　研究報告 54

7.2　利用促進 55
7.2.1　業務報告 55
7.2.2　インターネットによる技術情報の提供 55
7.2.3　記者発表 55
7.2.4　マスメディア報道 56

8　運営委員会 57

8.1　運営委員会の開催 57
8.1.1　開催状況 57

1　埼玉県産業技術総合センター概要

1.1　沿革

大正 10 年　埼玉県熊谷工業試験場設立、庶務部、染色部及び機織部の 3 部を設置

大正 11 年　整理部を増設し 4 部となる

大正 12 年　図案部を増設し 5 部となる

昭和 5 年　醸造部を増設し（昭和２１年に技術部に改称）6 部となる
埼玉県秩父工業試験場設立、熊谷工業試験場の機織部及び図案部を移転

昭和 6 年　埼玉県熊谷工業試験場浦和分場を設置し整理部を移転

昭和 8 年　埼玉県川口鋳物工業試験場設立

昭和 9 年　浦和分場を埼玉県染色試験場と改称し熊谷工業試験場の染色部を移転、熊谷工業試験場は名称を埼玉県醸造試験場と改称

昭和 11 年　埼玉県小川製紙研究所設立

昭和 12 年　埼玉県仏子染織指導所設立
埼玉県秩父工業試験場を埼玉県秩父染織指導所と改称
埼玉県川口鋳物工業試験場を埼玉県川口重工業指導所と改称
埼玉県醸造試験場に染色部を再設置し（昭和１８年に廃止）、埼玉県熊谷醸造指導所と改称
埼玉県小川製紙研究所を埼玉県小川製紙指導所と改称

昭和 19 年　埼玉県熊谷醸造指導所を埼玉県醸造指導所と改称
埼玉県秩父染織指導所を埼玉県秩父工業指導所と改称
埼玉県仏子染織指導所を埼玉県繊維工業指導所と改称
埼玉県小川製紙指導所を埼玉県製紙工業指導所と改称

昭和 20 年　埼玉県川口重工業指導所を埼玉県鋳物指導所と改称

昭和 24 年　埼玉県行田繊維工業指導所設立

昭和 31 年　埼玉県醸造指導所を埼玉県醸造試験場と改称
埼玉県秩父工業指導所を埼玉県秩父繊維工業試験場と改称
埼玉県繊維工業指導所を埼玉県繊維工業試験場と改称
埼玉県行田繊維工業指導所を埼玉県行田繊維工業試験場と改称
埼玉県製紙工業指導所を埼玉県製紙工業試験場と改称
埼玉県鋳物指導所を埼玉県鋳物工業試験場と改称

昭和 36 年　埼玉県デザインセンターを大宮市の埼玉県商工会館内に設置

昭和 38 年　埼玉県鋳物工業試験場を川口市本町から川口市芝に移転し、埼玉県鋳物機械工業試験場と改称

昭和 42 年　埼玉県工芸試験場を浦和市に設立、デザインセンターを廃止

昭和 47 年　醸造試験場の建設工事竣工、埼玉県食品工業試験場と改称

昭和 58 年　埼玉県工芸試験場を埼玉県工業技術研究所に改称
埼玉県行田繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場に、埼玉県繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場入間支場に、埼玉県秩父繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場秩父支場に改組

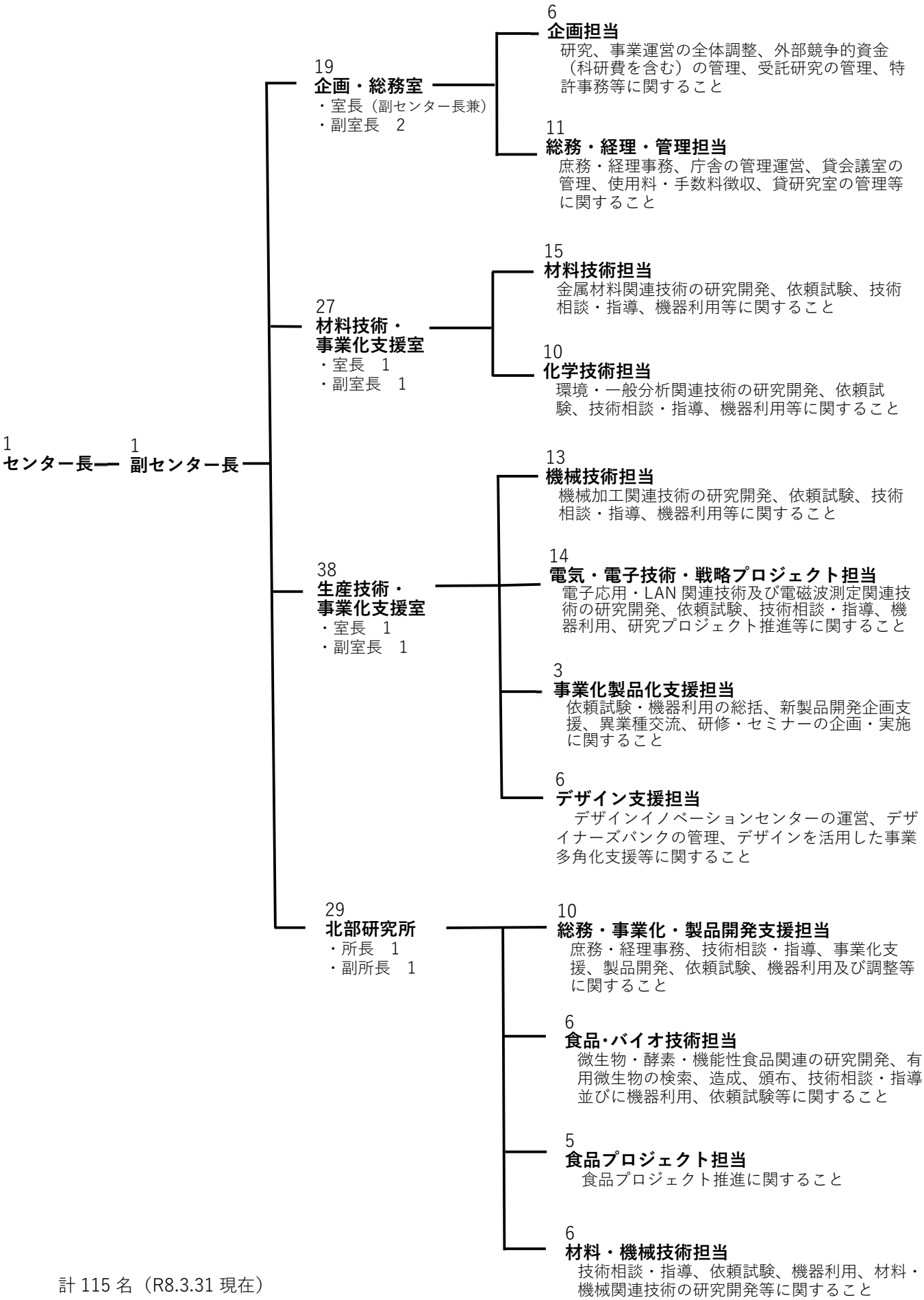
平成 7 年　鋳物機械工業試験場において、新技術事業団（現（独）科学技術振興機構）及び科学技術庁金属材料研究所との共同研究を開始するため、新技術事業団埼玉研究室及び新技術事業団のプレハブ実験棟を設置

平成 10 年　5 研究機関 7 施設を再編・統合し、埼玉県工業技術センター設立
本所（川口市・旧鋳物機械工業試験場）、南部研究所（浦和市・旧工業技術研究所）及び北部研究所（熊谷市・旧食品工業試験場）の 3 施設を設置

平成 15 年　埼玉県工業技術センターを廃止し、埼玉県産業技術総合センター設立
埼玉県産業技術総合センター（川口市）及び埼玉県産業技術総合センター北部研究所（熊谷市・旧埼玉県工業技術センター北部研究所）の 2 施設を設置

令和 7 年　埼玉県産業技術総合センター（川口市）に SAITEC デザインイノベーションセンターを設置

1.2　組織と事務分掌



計 115 名（R8.3.31 現在）

1.3　所在地、土地建物

◆　埼玉県産業技術総合センター（本所）

所在地　川口市上青木三丁目１２番１８号

土　地		１８，３５２．５８	平方メートル
建　物	埼玉県産業技術総合センター	２７，２８７．６３	平方メートル
	埼玉県生活科学センター	４，４２０．３０	平方メートル
	川口市立科学館	３，７８４．６１	平方メートル
	合　　計	３５，４９２．５４	平方メートル

構　造　地上９階／地下１階

◆　北部研究所

所在地　熊谷市末広二丁目１３３番地

土　地		５，９２３．３０	平方メートル
建　物	本　　館	１，６８７．９２	平方メートル
	試 験 棟	４９４．２７	平方メートル
	新　　館	６０２．８４	平方メートル
	新試験棟	３１２．８６	平方メートル
	そ の 他	７３．６０	平方メートル
	合　　計	３，１７１．４９	平方メートル

1.4 会計（決算）

(1)　歳　入　　（単位：円）

科　　目	本　　所	北部研究所	合　　計
使用料及び手数料	**185,603,580**	**24,143,272**	**209,746,852**
使　用　料	131,636,680	6,885,622	138,522,302
総務使用料	2,451,904	469,862	2,921,766
商工使用料	129,184,776	6,415,760	135,600,536
手　数　料	53,966,900	17,257,650	71,224,550
商工手数料	53,966,900	17,257,650	71,224,550
財　産　収　入	**16,867,141**	**521,860**	**17,389,001**
財産運用収入	16,867,141	0	16,867,141
財産貸付収入	16,867,141	0	16,867,141
財産売払収入	0	521,860	521,860
物品売払収入	0	21,460	21,460
生産物売払収入	0	500,400	500,400
諸　収　入	**130,564,832**	**387,500**	**130,952,332**
受託事業収入	5,762,700	0	5,762,700
商工受託事業収入	5,762,700	0	5,762,700
雑　　入	124,802,132	387,500	125,189,632
雑　　入	124,802,132	387,500	125,189,632
合　　計	**333,035,553**	**25,052,632**	**358,088,185**

(2)　歳　出　　（単位：円）

科　　目	本　　所	北部研究所	合　　計
総　務　費	**80,478,124**	**865,015**	**81,343,139**
総務管理費	1,131,533	865,015	1,996,548
一般管理費	1,024,743	606,375	1,631,118
人事管理費	106,790	76,040	182,830
財産管理費	0	182,600	182,600
県民費	79,346,591	0	79,346,591
消費者対策費	79,346,591	0	79,346,591
商　工　費	**753,066,960**	**52,656,704**	**805,723,664**
商工業費	753,066,960	52,656,704	805,723,664
商工総務費	5,820,505	165,191	5,985,696
商工振興費	4,558,673	3,166,244	7,724,917
産業技術総合センター費	742,687,782	49,325,269	792,013,051
合　　計	**833,545,084**	**53,521,719**	**887,066,803**

1.5 貸会議室等

1.5.1 多目的ホール、会議室の使用料等

階	区分 / 施設名	面積 (m^2)	定員 (人)	午　前 (円)	午　後 (円)	夜　間 (円)	超　過 (円／時間)
1	多目的ホール１	199.64	130	6,460	8,620	6,460	2,140
1	多目的ホール２	273.92	170	8,880	11,800	8,880	2,950
3	３Ａ会議室	66.46	30	2,130	2,860	2,130	700
3	３Ｂ会議室	66.46	30	2,130	2,860	2,130	700
4	４Ａ会議室	66.46	33	2,130	2,860	2,130	700
4	４Ｂ会議室	66.46	33	2,130	2,860	2,130	700
4	４Ｃ会議室	70.92	33	2,290	3,050	2,290	760

1.5.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数

	利用件数（件）				利用人数（人）			
	午　前	午　後	夜　間	計	午　前	午　後	夜　間	計
多目的ホール１	127	138	78	343	11,007	11,499	7,942	30,448
多目的ホール２	136	149	75	360	13,966	14,858	9,083	37,907
３Ａ会議室	85	113	59	257	1,684	1,957	690	4,331
３Ｂ会議室	79	105	72	256	1,482	1,722	1,130	4,334
４Ａ会議室	127	130	34	291	2,338	2,278	552	5,168
４Ｂ会議室	120	127	32	279	2,059	2,117	519	4,695
４Ｃ会議室	84	90	26	200	1,282	1,316	347	2,945
合　　計	758	852	376	1,986	33,818	35,747	20,263	89,828

1.5.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数

	県	川口市	その他官公庁	公社公団	入居商工団体	他の商工団体	民間事業所	その他	合計
件　数	167	17	294	14	180	167	918	229	1,986
百分比(%)	8.4	0.9	14.8	0.7	9.1	8.4	46.2	11.5	100.0

1.5.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数

	会議	研修会	講演会	大会	展示会	その他	合計
件　数	227	485	169	41	221	843	1,986
百分比(%)	11.4	24.4	8.5	2.1	11.1	42.4	100.0

1.6　試験研究設備の整備状況

R7 年度は次のとおり試験研究設備を導入した。

品　名	数量（式）	銘　柄　・　規　格　等	設置場所
電磁波試験測定装置 （EMI レシーバ他）（*）	1	Keysight Technologies 社 N9048B PXE、他	本　　所
高速試料切断機	1	平和テクニカ（株）　HS-100G2	
キャス試験機	1	スガ試験機（株）　CAP-100	
真円度測定機	1	（株）東京精密 RONDCOM NEX 200DX-11	
レーザー加工機	1	Epilog Laser 社　Fusion Pro36-100w	
冷熱衝撃試験機	1	楠本化成（株）　NT1251A	北部研究所
ベルト研磨機	1	（株）三啓　プラト MP-100WR	

※（公財）JKA の「公設試験研究所設備拡充補助事業」による

2　技術支援

中小企業の技術支援のため、技術相談・技術指導、企業からの依頼に応じた依頼試験、試験研究機器の貸出し等を行うとともに、スマートものづくり基盤の構築を支援した。

2.1　技術相談・技術指導

中小企業の生産活動における技術的課題の解決、新製品や新商品の開発等を支援するため、当センター職員による相談・指導を実施した。

◆　本 所

分　類	項　　目	相談件数
機 械 関 連	切削に関すること	202
	特殊加工に関すること	1,532
	設計に関すること	12
	精密測定に関すること	3,998
鋳 物 関 連	鉄鋳物に関すること	158
	非鉄鋳物に関すること	196
	鋳型・鋳造方案に関すること	2
	鋳物不良対策に関すること	1
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	165
	腐食、防食に関すること	212
	熱処理に関すること	8
	塗装技術に関すること	8
材料試験・組織等	成分分析(金属）に関すること	557
	成分分析(非金属）に関すること	1,037
	材料強度等に関すること	1,119
	材料の物性、工業規格に関すること	527
	顕微鏡組織観察等に関すること	530
	材料のクレーム対策に関すること	2
	非破壊検査に関すること	483
電気・電子・制御関連	自動化、省力化に関すること	82
	制御技術に関すること	1
	電気、電子技術に関すること	1,472
窯 業 関 連	窯業(製造)技術に関すること	0
	セラミックス技術に関すること	27
プラスチック関連	プラスチック技術に関すること	576
	接着・複合化技術に関すること	44
デザイン関連	商品企画に関すること	350
	プロダクトデザインに関すること	14
	グラフィックデザインに関すること	17
福祉技術関連	福祉・リハビリテーション用具に関すること	119
環境技術関連	再資源化に関すること	1
	廃棄物処理に関すること	0
	環境等に関すること	0
	環境浄化技術に関すること	28
	省エネ技術に関すること	0
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	43

分　類	項　　目	相談件数
	機器操作に関すること	176
	製品開発に関すること	7
	生産技術に関すること	1
	材料・製品試験に関すること	1,245
	講習会、研修会等に関すること	7
	アドバイザー指導等に関すること	47
	異業種交流に関すること	6
	情報検索に関すること	0
	特許に関すること	3
	制度融資、補助金等に関すること	2
その他	経営相談	82
	放射線に関すること	0
	自動車関連（関東相互紹介例）	0
	入居企業に関すること	24
	その他上記以外の事項	148
特記事項	海外事業支援に関すること	29
計 （うち実地指導件数）		15,300 (2,096)

◆　北部研究所

分　類	項　　目	相談件数
分析関連	組成・物性に関すること	0
	素材分析に関すること	189
	成分分析（金属）に関すること	115
	成分分析（非金属）に関すること	91
デザイン関連	デザイン等に関すること	1
プラスチック関連	プラスチック技術に関すること	1
	接着・複合化技術に関すること	3
食品関連	酒類の製造に関すること	691
	穀類食品の製造に関すること	26
	調味料の製造に関すること	5
	漬物の製造に関すること	53
	その他食品の製造に関すること	123
	食品成分に関すること	40
	食品素材に関すること	19
	微生物・酵素に関すること	120
	食品分析に関すること	370
素材関連	原材料・薬剤・原料調整に関すること	0
	素材の応用技術に関すること	0
設計・生産関連	切削に関すること	0
	特殊加工（機械等）に関すること	0
	設計に関すること	1

分　類	項　　目	相談件数
	精密測定に関すること	6
	生産技術（機械等）に関すること	2
	材料・製品試験（機械等）に関すること	3
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	26
	腐食・防食に関すること	43
	熱処理に関すること	1
	塗装技術に関すること	15
材料試験・組織等	材料の強度等に関すること	71
	材料の物性・工業規格に関すること	11
	顕微鏡組織観察等に関すること	94
	材料のクレーム対策に関すること	0
	非破壊検査に関すること	5
環境技術関連	再資源化に関すること	40
	省エネ技術に関すること	0
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	134
	機器操作に関すること	139
	製品開発に関すること	32
	生産技術に関すること	0
	材料・製品試験に関すること	76
	コンピュータ等に関すること	2
	講習会・研究会・鑑評会に関すること	64
	アドバイザー指導等に関すること	16
	異業種交流に関すること	0
	法規・規格・表示に関すること	1
	産業情報等の提供に関すること	0
	行政情報等の提供に関すること	2
その他	放射線に関すること	0
	自動車関連（関東相互紹介例）	0
	その他上記以外の事項	26
特記事項	海外事業支援に関すること	0
計 （うち実地指導件数）		2,657 (354)

◆ 合 計

機　関　名	相談件数（うち実地指導件数）
本　　所	15,300　(2,096)
北部研究所	2,657　(354)
合　　計	**17,957　(2,450)**

2.2 依頼試験

中小企業等からの依頼に基づき、製品や部品、材料等の試験、測定、分析などを実施した。

2.2.1 依頼試験

依頼試験件数の多い項目を比較すると、本所では機器分析、強度試験、試験片調製が中心であり、北部研究所では精密測定、機器分析が多かった（その他の依頼試験を除く）。

◆ 本 所

分類		件数	金額（円）
分析	一般分析	139	191,560
	機器分析	2,538	14,407,030
材料試験	強度試験	2,436	4,015,820
	物理試験	64	341,120
	組織試験	694	2,958,240
	耐候性試験	118	628,660
	表面処理試験	1,108	5,188,990
測定及び検査	精密測定	1,205	2,877,330
	ＥＭＣ測定	72	749,160
	非破壊測定及び検査	368	4,787,580
調製	試験片調製	1,415	1,240,720
立会試験	立会試験	1	1,320
その他の依頼試験	その他の依頼試験	3,607	16,586,710
試験成績書の複本等	試験成績書の複本等	8	2,220
小計		**13,773**	**53,976,460**

◆ 北部研究所

分類		件数	金額（円）
分析	一般分析	120	145,330
	機器分析	996	4,832,760
材料試験	強度試験	210	190,280
	物理試験	42	103,500
	組織試験	256	979,740
	表面処理試験	127	1,077,730
測定及び検査	精密測定	1,482	4,026,780
調製	試験片調製	255	257,330
その他の依頼試験	その他の依頼試験	1,240	5,391,220
	オーダー試験	17	280,500
小計		**4,745**	**17,285,170**

◆ 合 計

機関名	件数	金額（円）
本所	13,773	53,976,460
北部研究所	4,745	17,285,170
合計	**18,518**	**71,261,630**

2.2.2 技能試験への参加

・ロックウェル硬さ試験　（KMTL エッジテック（株）　金属の機械試験）
・金属材料引張試験　（KMTL エッジテック（株）　金属の機械試験）

2.3 機器利用

中小企業等の技術開発を支援として、試験研究機器の貸出し及び機器操作技術の認定研修を実施した。

2.3.1 機器利用

機器は設計・加工機器、表面観察機器、強度試験機器、精密測定機器、測定機器、試料調製機器、電気・電子測定機器、評価試験機器、分析機器に分類されている。

利用件数で比較すると、本所では電気・電子測定機器、評価試験機器、精密測定機器の利用が中心で、北部研究所では強度試験機器、分析機器の利用が多かった。

なお、指導時間は機器を使用する際の職員による指導（有料）の時間数である。

◆ 本 所

分類	※利用総額（円）	利用件数（件）	利用時間（時間）	利用金額（円）	指導時間（時間）	指導金額（円）
設計・加工機器	2,216,940	363	1,889	1,899,440	127	317,500
表面観察機器	256,000	186	775	253,500	1	2,500
強度試験機器	1,149,660	265	845	932,160	87	217,500
精密測定機器	5,730,900	500	2,516	4,658,400	429	1,072,500
測定機器	1,659,030	341	1,416	1,556,530	41	102,500
試料調製機器	1,063,470	45	4,822	1,063,470	0	0
電気・電子測定機器	31,185,070	880	4,158	27,685,070	1,400	3,500,000
評価試験機器	26,561,740	568	25,498	25,814,240	299	747,500
分析機器	2,301,480	327	973	2,251,480	20	50,000
小　　計	**72,124,290**	**3,475**	**42,892**	**66,114,290**	**2,404**	**6,010,000**

◆ 北部研究所

分類	※利用総額（円）	利用件数（件）	利用時間（時間）	利用金額（円）	指導時間（時間）	指導金額（円）
設計・加工機器	6,240	11	13	6,240	0	0
強度試験機器	431,370	160	588	338,870	37	92,500
精密測定機器	242,730	59	214	172,730	28	70,000
測定機器	202,750	72	136	200,250	1	2,500
試料調製機器	588,240	34	1,816	588,240	0	0
評価試験機器	3,987,690	78	10,972	3,987,690	0	0
分析機器	860,560	109	327	850,560	4	10,000
小　　計	**6,319,580**	**523**	**14,066**	**6,144,580**	**70**	**175,000**

◆ 合 計

機関名	※利用総額（円）	利用件数（件）	利用時間（時間）	利用金額（円）	指導時間（時間）	指導金額（円）
本　　所	72,124,290	3,475	42,892	66,114,290	2,404	6,010,000
北部研究所	6,319,580	523	14,066	6,144,580	70	175,000
合　　計	**78,443,870**	**3,998**	**56,958**	**72,258,870**	**2,474**	**6,185,000**

（※利用総額：利用金額と指導金額の合計）

2.3.2 機器操作技術認定研修

機器利用に当たり、一定の操作技術が必要な機器について利用者に研修を実施し、認定証を発行した。

研修回数・参加人数	本所	205 回・312 人
	北部研究所	67 回・ 99 人

2.4 DX 支援事業

低コスト輸入製品の増加や人手不足などの課題を抱える県内企業に対し、DX の活用による競争力強化と生産性向上を目的として、生産現場のデジタル化とスマート工場化を推進するために、既存生産設備の改良や先進的な生産システムの導入を支援した。

また、所内に「デジタルものづくり研究会」を設置し、県内中小企業の 3D データ活用を推進する支援を実施した。

2.4.1 AI・IoT 導入支援

技術職員が県内企業を訪問し、既存設備へのセンサ設置、ネットワーク接続、遠隔監視、データ蓄積などのシステム導入について提案・助言を行った。また、SAITEC に整備した実証環境（AI・IoT 検証ラボ）を活用し、検証試験等を通じて企業のスマートものづくり基盤構築を支援した。

AI 導入支援では、AI 画像解析ソフトウェアを用いて、製品の良品判定等の精度検証を実施し、検証結果を企業に報告した。深層学習や機械学習を活用し、データ解析や画像の判別・抽出等の技術相談、競争的資金の共同研究者として企業支援を実施した。

支援企業　22 社（延べ）

2.4.2 3D データ活用支援

AI・IoT 等の急激な進歩に伴い、設計・試作プロセスのデジタル化による省力化、省資源化、形状最適化を通じた製品の高付加価値化が求められている。こうした背景をもとに、SAITEC 内に「埼玉県デジタルものづくり研究会」を設置し、県内中小企業の 3D データ活用を支援した。

また、デジタルものづくり技術に関する講演会や見学会を開催するとともに、金属・樹脂 3D プリンタ、3D スキャナや各種シミュレーションソフトを活用した事例検討や試作支援を通じ、試作・製品設計の省力化や効率化を支援した。

支援企業　207 社（延べ）

2.5 培養酵母等の頒布

北部研究所にて、培養酵母等の頒布を実施した。

種　　別	本　　数	金　　額（円）
酒類用酵母等	804	482,400
味噌用酵母	6	9,000
合　　計	810	491,400

2.6 支援基盤の整備

職員の資質向上を図るため、各種研修会への職員の参加を促進するとともに、職場の安全対策などのため職場内研修を実施した。

2.6.1 職員研修

(1) 外部研修の受講

◆ 本 所

講座名	期　間	研修機関	受講部署
プラスチック成形加工学会 第 36 回年次大会	R7.6.18～19	プラスチック成形加工学会	機械技術担当
情報安全支援士　オンライン講習	R7.6.27	情報処理推進機構	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
第46回分析化学基礎セミナー （無機分析編）：2日間講習	R7.7.7～8	(公社)日本分析化学会 関東支部	化学技術担当
【web】 RoHS 分析･汎用分析の基礎と応用	R7.7.10	(株)日立ハイテクサイエンス	材料技術担当
第 36 回成形加工テキストセミナー	R7.7.14	プラスチック成形加工学会	機械技術担当
振動試験実習セミナー	R7.7.18	IMV(株)	機械技術担当
保護具着用管理責任者教育	R7.7.24	(一社)浦和地区労働基準協会	材料技術担当
化学物質管理者講習 （取扱事業者向け）	R7.7.29	(一社)浦和地区労働基準協会	材料技術･事業化支援室長
安全衛生推進者養成講習会	R7.8.28～29	(一財)地方公務員安全衛生推進協会	化学技術担当
機械材料の特性と選定技術	R7.9.3～4	高度ポリテクセンター	材料技術担当
公設試験研究機関研究職員研修	R7.9.16～19	中小企業大学校（東京校）	材料技術担当 機械技術担当
汎用フライス盤基礎研修(中央)	R7.9.17～19	(公財)埼玉県産業振興公社	材料技術担当
防火・防災管理新規講習	R7.9.25～26	(一財)日本防火・防災協会	企画･総務室副室長
有機溶剤作業主任者技能講習	R7.9.29～30	労働安全衛生管理協会	機械技術担当
機械設計のための総合力学	R7.9.30～ 10.2	ポリテクセンター埼玉	機械技術担当
情報機器作業労働衛生教育 インストラクターコース	R7.10.14～16	東京安全衛生教育センター	材料技術担当
Hexagon |XCT| VG User Conference	R7.10.22	Hexagon Manufacturing Intelligence (株)	機械技術担当
産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会 高分子分科会	R7.10.23～24	(国研)産業技術総合研究所	機械技術担当
伴走型支援に役立つ傾聴力と質問力	R7.11.7～8	中小企業大学校（Web 校）	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
プラスチック成形加工学会 第 32 回秋季大会	R7.11.10～11	プラスチック成形加工学会	機械技術担当
局所排気装置等定期自主検査 インストラクターコース	R7.11.10～14	中央労働災害防止協会	材料技術担当
蛍光 X 線定期講習会 （走査型コース）	R7.11.13～14	(株)リガク	化学技術担当
金属部品の精密洗浄技術	R7.11.25～26	高度ポリテクセンター	材料技術担当
旋盤加工技術	R7.12.2～5	ポリテクセンター茨城	機械技術担当
高分子学会 NMR シンポジウム	R7.12.12	高分子学会 NMR 研究会	化学技術担当
【web】膜厚分析の基礎と応用	R8.1.29	(株)日立ハイテクサイエンス	材料技術担当

講座名	期　間	研修機関	受講部署
金属材料の腐食対策 （腐食理論と防食技術）	R8.2.25～26	高度ポリテクセンター	材料技術担当
表面技術協会講演大会	R8.3.4～5	表面技術協会	化学技術担当
フルハーネス型墜落制止用器具 (安全帯)特別教育	R8.3.6	建設業労働災害防止協会	材料技術担当

◆　北部研究所

講座名	期　間	研修機関	受講部署
令和 6 酒造年度 全国新酒鑑評会製造技術研究会	R7.5.29	独立行政法人酒類総合研究所	食品･バイオ 技術担当
CAE 解析の基礎と疲労強度設計・振動対策への活かし方	R7.6.5	日本テクノセンター	材料･機械 技術担当
JIS に準拠したわかりやすい機械図面の読み方・描き方とその実践のポイント　～演習付～	R7.7.1	日本テクノセンター	材料･機械 技術担当
令和 6 酒造年度 全国新酒鑑評会公開きき酒会	R7.7.12	日本酒造組合中央会	食品･バイオ 技術担当
醸造 WEB 講習 醤油編：醤油製造技術 Part2	R7.7.	公益財団法人日本醸造協会	食品･バイオ 技術担当
日本食品科学工学会第 72 回大会	R7.8.27～29	（公社）日本食品科学工学会	食品プロジェクト担当
酒米懇談会	R7.9.4	酒米研究会	食品･バイオ 技術担当
令和 7 年度日本醸造学会大会	R7.10.8	日本醸造学	食品･バイオ 技術担当
微生物検査　基礎・判定研修	R7.10.16～17	（一財）日本食品検査	食品プロジェクト担当
はじめての QGIS 基本操作とデータ可視化	R7.11.7	（株）MIERUNE	食品･バイオ 技術担当
製造現場における LAN 活用技術 （外部接続実践編）	R8.2.5～6	ポリテクセンター埼玉	総務･事業化･ 製品開発支援担当
製造現場における LAN 活用技術 （セキュリティ編）	R8.2.26～27	ポリテクセンター埼玉	総務･事業化･ 製品開発支援担当
事例に学ぶ金属材料の疲労破壊と対策	R8.3.4～5	高度ポリテクセンター	材料･機械 技術担当
日本食品科学工学会関東支部大会	R8.3.9	（公社）日本食品科学工学会	食品プロジェクト担当
日本農芸化学会 2026 年度大会	R8.3.9～12	（公社）日本農芸化学会	食品プロジェクト担当
日本農芸化学会 2026 年度大会	R8.3.10	（公社）日本農芸化学会	食品･バイオ 技術担当

(2)　職場研修

◆　本 所

名　　称	期　日	会　　場	参加人数
職場倫理研修 情報セキュリティ研修 講師：電気･電子技術･戦略プロジェクト担当	R7.4.21 22 24	埼玉県産業技術総合センター	73
熱中症予防作業管理者に対する 労働衛生教育 講師：材料技術担当	R7.6.27 R7.7.10	埼玉県産業技術総合センター	19
騒音障害防止対策の管理者に対する 労働衛生教育 講師：材料技術担当	R7.9.16	埼玉県産業技術総合センター	11
機械研削用といしの取替え又は取替え時の試運転の業務に係る特別教育 講師：材料技術担当、化学技術担当	R7.10.8 9	埼玉県産業技術総合センター	6
自由研削用といしの取替え又は取替え時の試運転の業務に係る特別教育 講師：材料技術担当、化学技術担当	R7.10.24	埼玉県産業技術総合センター	6
粉じん作業に係る業務特別教育 講師：材料技術担当、化学技術担当	R7.10.28	埼玉県産業技術総合センター	8
局所排気装置等自主検査講習会 講師：材料技術担当	R8.1.16 23	埼玉県産業技術総合センター	18
透過写真撮影業務特別教育 講師：材料技術担当	R8.2.18	埼玉県産業技術総合センター	11
ハラスメント防止研修	R8.2.27	埼玉県産業技術総合センター	82

◆　北部研究所

名　　称	期　日	会　　場	参加人数
職場倫理研修 情報セキュリティ研修 講師：電気･電子技術･戦略プロジェクト担当 ハラスメント防止研修	R7.6.23	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	26

3　研究開発支援

県内産業の技術力向上を図るため、社会的ニーズや新技術・新製品の開発、生産システムに関する課題に対応した研究開発や受託研究を実施し、研究成果の発表や技術相談等を通じて成果の技術移転を進めた。 また、外部評価委員による研究評価や客員研究員による指導を受け、研究の効果的・効率的な推進に努めた。 さらに、中小企業等の研究開発支援及び産学官連携の促進のため、技術相談や共同研究等による企業支援を行った。

3.1　研究開発

3.1.1　政策的研究課題

(1)　政策的研究開発事業（産業支援研究）

◆ 本所

「フレーム構造の最適設計に関する研究」

「少数色覚者のための色覚補正ツールの開発と検証」

「大気環境における金属腐食因子に関する研究」

「リチウムイオン電池用アルミニウム合金負極の開発」

「AI による食品内混入異物の検査手法の開発」

「自動走行ロボット電動車椅子の評価と国際規格素案開発」

◆ 北部研究所

「埼玉県乳酸菌ライブラリーの構築」

「長時間生地発酵による県産小麦使用パンの付加価値向上」

(2)　新技術開発推進事業（独創的技術形成研究、技術支援高度化研究）

◆ 本所

「ハンドルリサイクル技術の開発」

◆ 北部研究所

「乾燥果実を活用した果実加工品キットの開発」

「硫酸塩を用いた仕込水による酒造への影響」

(3)　競争的研究費による研究開発等

〔令和 6 年度成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）　経済産業省〕

「酸化物全固体電池の製造を可能とする常圧ミストＣＶＤ装置の開発」

〔2023 年度新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業　NEDO〕

「未利用食品廃棄物のメタン資源化マッチング 基盤 AI＆評価システムの開発」

〔水素利用拡大に向けた共通基盤強化のための研究開発事業　NEDO〕

「固体高分子形燃料電池用接着シール材料の高性能化および周辺技術の開発に関する研究」

〔令和 7 年度成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）　経済産業省〕

「低誘電率プラスチック成形表面への 3D 形状パターンめっき技術（メタサーフェス 3D めっき）の開発」

3.1.2 受託研究等

(1) 企業からの受託研究

	件数	金額 （円）
本　所	4	1,295100
北部研究所	5	2,041,600
計	**9**	**3,336,700**

(2) 外部競争的研究費による受託研究

	件数	金額 （円）
本　所	0	0
北部研究所	1	2,426,000
計	**1**	**2,426,000**

(3) 外部競争的研究費による研究開発（補助金、助成金）

	件数	金額 （円）
本　所	3	2,625,412
北部研究所	0	0
計	**3**	**2,625,412**

※科研費を除く

3.1.3 科学研究費助成事業（科研費）

平成 26 年 10 月 15 日付で科学研究費補助金取扱規程に規定する研究機関に指定された（機関番号は 82410）。

令和 7 年度に実施した研究課題は次のとおり。

研究種目	研究課題名	所	研究者区分	交付額	
				直接経費（千円）	間接経費（千円）
基盤研究(C)	車椅子上の足底接地の条件に着目した誤嚥防止に有効な座位姿勢の解明	本所	研究分担者	100（*）	30（*）
基盤研究(C)	シーティング技術における背張調整の標準化と評価法の構築	本所	研究分担者	100	30
基盤研究(C)	福祉用具の広範な開発と利活用を促進する低コスト試験方法の開発と社会実装の実践	本所	研究代表者	1,300	450
基盤研究(C)	人工衛星やドローンを活用した酒米の酒造適性推定モデルの構築	北部	研究代表者	660	198

* 研究分担者 2 名分の合算金額。

3.2 客員研究員

当センターが取り組む試験研究等の成果を産業技術の向上及び発展につなげるため、外部の専門家・有識者から必要な助言･指導を受けた。

客員研究員の所属・氏名（敬称略）	指導分野	指導日数	指導を受けた担当部署
埼玉大学・小林 貴訓	ヘルスケア	3	電気・電子・戦略プロジェクト担当
高崎健康福祉大学・辻 聡	農林・食品	3	食品･バイオ技術担当
帝京平成大学・前田 竜郎	農林・食品	2	食品プロジェクト担当
3 名	**2 分野**	**8**	

3.3 研究成果の公表

3.3.1 センター主催の発表

◆ 本 所

SAITEC オープンラボ （掲載論文 『埼玉県産業技術総合センター研究報告第 23 巻』）

年月日	発 表 題 目	発 表 者 名
R7.10.16	人工膝関節置換術支援システムの開発	電気・電子技術・ 戦略プロジェクト担当 半田隆志
	多様な色覚者同士が美術的意図を損なわずに配色を伝達する手法	電気・電子技術・ 戦略プロジェクト担当 岡崎祥吾
	競技用車椅子へのマルチボディダイナミクス解析の適用に関する基礎的検討	機械技術担当 都知木邦裕
	セルロース担持メラミンセパレータの開発	電気・電子技術・ 戦略プロジェクト担当 栗原英紀
	フレーム構造の最適設計に関する研究	機械技術担当 都知木邦裕
	バイオプラスチック実用化研究	機械技術担当 山田岳大
	金属 3D プリンタを用いた SUS630 の力学的特性評価	材料技術・事業化支援室 小熊広之

◆ 北部研究所

SAITEC 北部研究所研究・支援成果発表会

年月日	発 表 題 目	発 表 者 名
R8.2.10	埼玉県乳酸菌ライブラリーの構築	食品･バイオ技術担当 和田健太朗
	ビール醸造に適した酵母の探索	食品･バイオ技術担当 和田健太朗
	AI 活用によるコメの品質の予測	食品･バイオ技術担当 齋藤健太
	酸味に特徴のある新規埼玉酵母による清酒製造試験	食品･バイオ技術担当 樋口誠一
	高灰分ストリーム粉の応用による麺製品の高付加価値化の検討	食品プロジェクト担当 成澤朋之
	全自動透湿度計の実用化	食品プロジェクト担当 飯塚真也

3.3.2 学会等への発表

◆ 本 所

年月日	発 表 題 目	発 表 者 名	口 頭 発 表 発 表 会 名	論 文 掲 載 誌 名
R7.5	車椅子用シートクッションのせん断力特性の計測手法開発に向けた予備的試行	白銀暁、外山滋、岡田圭司、岸本拓也、半田隆志		リハビリテーション・エンジニアリング Vol.40, No.2, (2025)
R7.10	単ロール式急冷凝固法で作製したマグネシウム合金薄帯における噴射温度とロール表面温度が薄帯性状に及ぼす影響	桐本雄市、附田之欣、田畑裕信、栗原英紀、鈴木真由美、羽賀俊雄		軽金属 第75巻 第10号（2025）
R7.10.12	大型X線CT装置による試験体の評価	菊池和尚	日本鋳造工学会 第 186 回全国講演大会	
R7.11.6	Standardization initiatives for enhancing seating safety and comfort	Takashi Handa, Barend ter Haar, Kara Kopplin	Oceania Seating Symposium	
R7.11.8	アルミニウム合金とマグネシウム合金からなる急 冷凝固クラッド箔帯作製用単ロールキャスターの試作	木下和、原一希、附田之欣、田畑裕信、栗原英紀、鈴木真由美、 中田大貴、会田哲夫、市坪哲、羽賀俊雄	軽金属学会第 149 回秋期大会	
R7.11.8	単ロール式急冷凝固法により作製したマグネシウム/アルミニウムクラッド薄帯のサイクル特性に及ぼす圧延加工の影響	原一希、木下和羽賀俊雄、附田之欣、田畑裕信, 栗原英紀、鈴木真由美、中田大貴、会田哲夫、市坪哲	軽金属学会第 149 回秋期大会	
R7.11.8	単ロール式急冷凝固法によるAl-Mn合金薄帯の作製とリチウム蓄電池用負極特性	日比野匠朗、附田之欣、栗原英紀、田畑裕信、羽賀俊雄、土屋大樹、松田健二、会田哲夫、市坪哲	軽金属学会第 149 回秋期大会	
R7.11.8	単ロール式急冷凝固法により作製したMg9%Al-3%Ca合金薄帯の電気化学特性および微細組織に及ぼす圧延加工の影響	中田大貴、魚躬凛、松本泰知、会田哲夫、栗原英紀、田畑裕信、羽賀俊雄、鈴木真由美、附田之欣、市坪哲	軽金属学会第 149 回秋期大会	

年月日	発表題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
R7.11.8	マグネシウム蓄電池用Mg-Al-Ca-Si合金薄 帯の電気化学特性に及ぼす圧延加工温度の影響	松本泰知、附田之欣、田畑裕信、栗原英紀、中田大貴、鈴木真由美、羽賀俊雄、会田哲夫、松田健二、市坪哲	軽金属学会第 149 回秋期大会	
R7.11.8	単ロール式急冷凝固法により作製したMg 9%Al-3%Ca合金薄帯の電気化学特性および微細組織に及ぼすMnの影響	附田之欣、松本泰知、清水悠広、会田哲夫、鈴木真由美、羽賀俊雄、 中田大貴、栗原英紀、市坪哲	軽金属学会第 149 回秋期大会	
R7.11.8	マグネシウム蓄電池用負極材料薄帯の塩化 鉄(III)水溶液浸漬による酸化鉄被膜形成と 電気化学特性に及ぼす影響	村西浩基、附田之欣、栗原英紀、田畑裕信、羽賀俊雄、 鈴木真由美、 中田大貴、会田哲、 市坪哲	軽金属学会第 149 回秋期大会	
R7.11.10	福祉用具に関する試験規格開発の取り組みの紹介	半田隆志	産技連　医療福祉技術シンポジウム	
R8.1.8	金型製造におけるX線CT装置活用のメリット	増子陽一		(一社)日本金型工業会機関誌『金型 KANAGATA』 No.203 新年(冬)号
R8.2	金型製造におけるX線CT装置活用のメリット（機関誌『金型 KANAGATA』No.203の転載）	増子陽一		日本工業出版(株)・月刊誌『機械と工具』（2026年2月号）
R8.3.17	A caster-up test method for manual wheelchairs under worst-case conditions	Takashi Handa, Masahiro Sakamoto, Kunihiro Tochiki, Yoshihiko Kozai		Journal of Assistive Technology

◆　北部研究所

年月日	発表題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
R7.4.1	水分拡散係数の短時間測定	飯塚真也、関口悠、佐藤千明		日本接着学会誌
R7.8.29	高灰分ストリーム粉の使用による麺の風味成分の変化	仲島日出男	日本食品科学工学会第 72 回大会	
R7.8.29	高灰分ストリーム粉の活用による麺製品の差別化	成澤朋之	日本食品科学工学会第 72 回大会	

年月日	発 表 題 目	発 表 者 名	口 頭 発 表 発 表 会 名	論 文 掲 載 誌 名
R7.11.20	ハイパースペクトルデータによる酒造適性の推定モデルの予察的検討	齋藤健太、畠山栞、小田川信哉、藤井秀幸	日本写真測量学会 令和 7 年度秋季学術講演会	
R8.3.11	生地調製時における風味成分生成に対する高灰分ストリーム粉と全粒粉の添加効果の違い	成澤朋之	日本農芸化学会 2026 年度大会	

※本所及び北部研究所とも下線は当センター職員

3.4 研究課題の評価

3.4.1 研究評価委員会

令和 7 年度の研究結果について、成果普及の方向性や今後の展開を検討するため、外部専門家を含む研究評価委員会を開催し、事後評価を実施した。併せて、令和 8 年度に実施予定の研究課題について、課題選定や研究計画を精査するため事前評価を行った。（令和 8 年 2 月 16 日開催）

【外部委員（50 音順、敬称略)】

東洋大学	教授	蒲生西谷 美香
（一社）埼玉県中小企業診断協会	理事	齋藤 裕子
（国研）産業技術総合研究所　臨海副都心センター	招聘研究員	鷹觜 利公
技術融合ネットワーク	代表	野口 満
埼玉大学 研究機構オープンイノベーションセンター	知的財産部門長	松岡 浩司

3.4.2 中間報告

産業支援研究の進捗状況を把握し、その進行を適切に管理するため、所内で中間ヒアリングを実施した。（令和 7 年 11 月 4 日）

3.5 産学官連携の推進

3.5.1 産学官連携推進について

県内企業等と共同研究を行うなどして研究開発の連携の推進を図った。産学官連携等により外部競争的研究費を利用した 3 件のテーマを実施した。

また、当センターの研究発表会（オープンラボ等）の開催や、産業交流展など他機関主催の展示会へも積極的に参加し研究等の説明を行った。

さらに、産学連携支援センター埼玉が主催する産学連携ネットワーク会議に参加し、県内工科系大学及び県内金融機関等と産学官連携の情報交換、連携推進を行った。

3.5.2 産学官連携関連展示会（主催事業）

◆ SAITEC オープンラボ

当センターの研究・事業成果の展示・発表及び、連携機関（(公財）埼玉県産業振興公社、連携公設試験研究機関、埼玉大学）の取組紹介などを県内企業等に向けて行った。

○ 日　　時　令和 7 年 10 月 16 日（木）　10:00～16:50

○ 会　　場　　埼玉県産業技術総合センター

○ 開催内容

SAITEC 及び連携公設試験研究機関の研究成果発表、基調講演、デザイン相談、知的財産相談、SAITEC 及び連携機関などの成果展示、施設見学会、研究成果発表。

■ SAITEC 職員による発表　　7 テーマ　[内容は 3.3.1 項を参照]
連携公設試験研究機関からの発表　3 テーマ　（東京都、神奈川県、千葉県）
■ 基調講演（敬称略）
テーマ　「行為のデザイン」から考えるリージョナルデザイン
～自社の商品開発力を高め、地域産業振興に寄与するためのデザイン経営手法とは？
公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会
理事長　村田　智明
■ 施設見学会（3 コース　43 名参加）
○　来場者数　84 名

3.5.3　産学官連携に関連する展示会

令和 7 年度は、外部機関からの出展依頼のあったものについても積極的に出展した。出展実績は以下のとおりである。

年　月　日	展示会の名称	開催場所	参加人数
R7.11.18～19	令和 7 年度彩の国ビジネスアリーナ	さいたまスーパーアリーナ	119 名（会場）
R7.11.13～27		オンライン	
R7.11.26～28	産業交流展 2025	東京ビッグサイト西 2 ホール	109 名（会場）
R7.11.12～12.5		オンライン	

3.6　助成制度等への取組

当センターは、県内中小企業等を技術面から支援する機関として、国等の助成制度等（補助金、委託事業等）の積極的な活用取組を図っている。

3.6.1　研究開発型企業支援

産学官等の共同研究体制を組み、国等が実施する助成制度等を活用し、研究開発を推進する県内中小企業を支援した。R7 年度は新規 2 テーマ及び継続 2 テーマを実施した。

事業名（実施機関）	テーマ名	共同研究体制
2023 年度 新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業 （NEDO）	未利用食品廃棄物のメタン資源化マッチング基盤 AI＆評価システムの開発	(株)ティービーエム (国研)国立環境研究所
令和 6 年度 成長型中小企業等研究開発支援事業【Go-Tech 事業】（経済産業省）	酸化物全固体電池の製造を可能とする常圧ミストＣＶＤ装置の開発	(株)天谷製作所 (公財)さいたま市産業創造財団
令和 7 年度 成長型中小企業等研究開発支援事業【Go-Tech 事業】（経済産業省）	低誘電率プラスチック成形表面への 3D 形状パターンめっき技術（メタサーフェス 3D めっき）の開発	吉野電化工業(株) (公財)さいたま市産業創造財団

事業名（実施機関）	テーマ名	共同研究体制
2025 年度水素利用拡大に向けた共通基盤強化のための研究開発事業（NEDO）	固体高分子形燃料電池用接着シール材料の高性能化および 接着シール部設計技術に関する研究開発	リンテック(株) (株)ADEKA （国研）産業技術総合研究所 （国研）物質・材料研究機構 東京科学大学 兵庫県立大学 大阪大学 名古屋工業大学 富山大学

3.7 特許の取得推進とその活用

3.7.1 産業財産権の一覧

令和 7 年度の産業財産権の一覧は次のとおりである。

◆ 特許権等（センターが所有する特許のうち、登録又は出願公開されたもの）

番号	名　　称	出願年月日 出願番号	公開年月日 公開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
1	射出成型装置	H21.4.28 特願 2009-10173	H22.11.18 特開 2010-260175	H22.11.19 4628476	山田 岳大	PLAMO(株) 共同
2	樹脂接合方法	H24.2.17 特願 2012-32540	H25.8.29 特開 2013-166904	H29.4.14 6123047	關根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	
3	接着剤及び樹脂接合方法	H24.8.17 特願 2012-180727	H26.2.27 特開 2014-037489	H29.3.3 6097914	關根 正裕 小熊 広之 佐野 勝	
4	吸熱マット、保護カバー	H24.12.11 特願 2012-270444	H26.6.26 特開 2014-115885	H29.9.15 6205548	關根 正裕	市原清二 共同
5	アクチュエータ	H25.3.27 特願 2013-066299	H26.10.6 特開 2014-193015	H29.5.26 6145674	荻野 重人	
6	位置決め機構	H26. 1 .31 特願 2014-017257	H27.8.6 特開 2015-143783	H30.7.20 6369741	荻野 重人	
7	試料の水蒸気透過度測定装置及び水蒸気透過度測定方法	H27.3.5 特願 2015-043135	H28.9.5 特開 2016-161527	H30.12.14 6446683	飯塚 真也	
8	電解液及びマグネシウム二次電池	H27.7.13 特願 2015-139770	H29.1.26 特開 2017-022024	R1.7.19 6554645	栗原 英紀 稲本 将史	本田技研工業(株) 共同
9	酸素還元触媒、その製造方法および燃料電池	H28.8.18 特願 2016-160323	H30.2.22 特開 2018-029011	R3.3.16 6853630	栗原 英紀 稲本 将史	
10	圧子押込み装置	H28.9.26 特願 2016-186939	H30.4.5 特開 2018-054318	R2.7.13 6733935	荻野 重人	

番号	名　　称	出願年月日 出願番号	公開年月日 公開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
11	濾過シート材のひだ折り装置	H29.1.26 特願 2017-012360	H30.8.2 特開 2018-118218	R3.7.6 6908901	奥野 慎	東洋精機(株) 共同
12	水蒸気透過度及び質量変化測定装置並びにその測定方法	H29.10.17 特願 2017-200956	R1.5.16 特開 2019-074418	R3.12.15 6994216	飯塚 真也	
13	移動式ダクト清掃装置	H29.12.6 特願 2017-234478	R1.6.24 特開 2019-098287	R4.5.18 7075633	荻野 重人 山崎 彰太	
14	電気化学デバイス用電極材およびその製造方法	H30.7.13 特願 2020-530283	R2.1.16 WO2020/013327	R5.9.6 7344487	栗原 英紀 稲本 将史	日本金属(株) 共同
15	電気化学デバイス用電極材	H30.7.13 特願 2020-530284	R2.1.16 WO2020/013328	R6.1.18 7422348	栗原 英紀 稲本 将史	中央工産(株) 日本金属(株) 共同
16	炭素繊維強化樹脂基材の表面にめっき皮膜を有する物品の製造方法	R1.9.25 特願 2019-174171	R3.4.1 特開 2021-050387	R6.3.4 7448119	熊谷 知哉 出口 貴久 須川 真希代	
17	野菜結束装置	R2.3.16 特願 2020-045450	R3.9.27 特開 2021-145562	R5.11.13 7384348	奥野 慎 金木 祐介 山川 翔平	東洋精機(株) 共同
18	リチウム二次電池用電解質媒体及びリチウム二次電池	R2.9.17 特願 2020-156005	R4.3.30 特開 2022-049787	R6.7.18 7523062	栗原 英紀 稲本 将史	本田技研工業(株) 共同
19	水分活性測定装置及び水分活性測定方法	R3.4.14 特願 2021-068634	R4.10.26 特開 2022-163610	R7.2.27 7641540	飯塚 真也	
20	電解液およびリチウムイオン二次電池	R3.11.25 特願 2021-191061	R5.6.6 特開 2023-077688	R7.4.1 7659486	栗原 英紀	本田技研工業(株) 共同
21	マグネシウム合金からなる蓄電池用の電極材料及び電極材の製造方法	R4.4.15 特願 2022-067806	R5.10.26 特開 2023-157724		栗原 英紀	富山大学 共同
22	機能軸推定装置，その方法，手術具姿勢調整装置	R4.10.18 特願 2022-167217	R6.5.1 特開 2024-059507		半田 隆志	アルスロデザイン(株)　共同
23	樹脂組成物、その成形品、並びにエラストマー組成物及びその成形品の物性を変化させる方法	R4.12.20 特願 2022-202847	R5.7.4 特開 2023-093388		山田 岳大	(株)フューエンス 共同
24	電池用電極材	R4.12.23 特願 2022-206272	R6.7.4 特開 2024-090388		栗原 英紀 沖 真理	富山大学 富山県立大学 中越合金鋳工(株)　共同
25	セパレータおよびリチウムイオン二次電池	R4.12.27 特願 2022-209168	R6.7.9 特開 2024-093051		栗原 英紀	
26	リチウムイオン二次電池用セパレータおよびその製造方法	R4.12.28 特願 2022-211036	R6.7.10 特開 2024-094480		栗原 英紀	(有)三和テック 共同

番号	名　　称	出願年月日 出願番号	公開年月日 公開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
27	固体電解質－電極接合体及びその製造方法、固体電解質及び活物質の製造方法並びに固体電解質電池	R6.3.4 特願 2024-032591	R7.9.17 特開 2025-134588		栗原 英紀	(株)天谷製作所 白井肇 曽根宏隆 共同
28	色補正方法及びその装置	R6.6.20 特願 2024－09930	R8.1.8 特開 2026-1795		岡崎 祥吾	

（R8.3.31 現在）

3.7.2　**実施許諾**

令和 7 年度の実施許諾企業数は、合計 8 社（実施許諾特許数は 9 件）となった。

4 事業化支援

中小企業の事業化支援として、技術課題解決のための専門家派遣や、デザインを活用した製品開発等支援を実施した。また、食のサーキュラーエコノミーに取り組む企業に対し技術面から支援を行った。さらに、企業を技術面・経営面の両面から支援するため、研究開発のスペースとして貸研究室を提供した。

4.1 製品開発支援

4.1.1 現場改善・製品化支援事業

県内中小企業等の現場改善や製品化に関する課題を解決するため、依頼企業へ専門家を派遣した。主な実績は次のとおりである。

◆ 本 所

産 業 分 野	企業数
金属製品製造業	7
業務用機械器具製造業	1
電気機械器具製造	1
小 計	9

技術指導分野	件数
製造工程改善	3
規格/基準適合、認証取得	3
生産管理	2
安全衛生管理	1
小 計	9

◆ 北部研究所

産 業 分 野	企業数
プラスチック製品製造業	1
食品製造業	1
小 計	2

技術指導分野	件数
製造工程改善	1
規格/基準適合、認証取得	1
小 計	2

◆ 合 計

機 関 名	企業数	のべ指導日数
本 所	9	31
北部研究所	2	3
合 計	**11**	**34**

4.1.2 ＳＡＩＴＡＭＡデザインイノベーション事業

県内中小企業等の新技術・新製品開発のためのデザイン力を強化するため、令和 7 年 8 月 26 日に「ＳＡＩＴＥＣデザインイノベーションセンター」を開設し、デザイン経営（※）の考え方を活用した課題解決支援を実施した。その主な成果は次のとおりである。

（※）デザイン経営：デザインの力をブランドの構築やイノベーションの創出に活用する経営手法

(1) デザイン相談
　ア 相談件数 延べ 389 件
　イ 相談会の実施［詳細は 6.2 項 参照］
　　12 回実施 延べ 23 社 23 件

(2) デザイナー伴走支援
　9 社 延べ 36 回

(3) BtoC 製品開発支援（多角化支援事業）
　10 件

(4) セミナー・ワークショップの開催［詳細は 6.2 項 参照］
　11 回 延べ参加者数 288 名

4.1.3　技術支援等による実用化・商品化

当センターの技術支援および研究開発により、企業が技術の実用化・開発を進め、それを基に製品開発・試作・商品化などを行った案件は、延べ 30 件である。

代表例は次のとおり。

ア　樹脂３D プリンタを活用した製品・部品等の試作支援
イ　受託研究による理化学機器の製品化支援
ウ　規格外農作物を有効活用した新商品製造支援
エ　プロダクトデザイナーとの協業による商品の試作支援
オ　酵母頒布による清酒の製品化支援

4.1.4　食の再資源化トライアル拠点としての技術支援
（食のサーキュラーエコノミー）

北部研究所は「食の再資源化トライアル拠点」として、食のサーキュラーエコノミーに取り組む企業を技術面から支援している。

令和７年度に行った支援は以下のとおりである。

(1)　主な支援内容
ア　技術相談対応
イ　専門家の派遣
ウ　試作支援、試作品評価
エ　（公財）埼玉県産業振興公社内の「サーキュラーエコノミー推進センター埼玉」と連携した事業化支援

(2)　支援実績
ア　相談件数　　177 件（41 企業）
イ　訪問件数　　51 件（27 企業）

(3)　主な支援事例
ア　芋蜜製造手法に関する技術移転支援を行うことで、㈲持田漬物店が「とろ～り芋蜜」の商品化に成功した。
イ　㈱塩野の漬物端材及び Smoke-i-freet の醤油粕を使用した燻製材を活用、技術支援を行うことで、「いぶりがっこ風漬物」の試作品が完成し、令和 8 年 6 月以降の商品化に目途をつけることができた。
ウ　規格外いちご乾燥粉末の活用についての相談を端緒に、手軽に作れる「ジャム作りキット」試作品を完成させ、製品化に向けた企業連携を進めるに至ることができた。

(4)　普及促進
ア 普及セミナーの開催　（2 回）　延べ 102 名(69 社･団体)参加
イ 展示会出展
(ｱ) 2025 年度 大阪・関西万博「科学漫画サバイバル」シリーズとコラボ！循環経済を楽しく学べる「サーキュラーエコノミー研究所」(R7.9.22~30)に出展し、北部研究所を中心とした埼玉県のサーキュラーエコノミーの取組について紹介した。来場者数 10,000 人
(ｲ) 令和７年度彩の国ビジネスアリーナ （R7.11.18～19）のサーキュラーエコノミーブースに「食の再資源化トライアル拠点」として出展　来場者数：235 名（2 日間合計）
(ｳ) 令和７年度農商工連携フェア（R7.12.2）に出展し、「食の再資源化トライアル拠点」の紹介や支援事例発表等を実施　来場者数：176 名
(ｴ) 「サーキュラーチャレンジウィーク　in 薩摩川内」(R8.2.11~13)に出展し、当所の取組について事例発表行った。併わせてブース展示を行った。来場者数 1,000 人

4.2 創業・起業支援

起業家や新事業分野に進出する中小企業を技術・経営両面から支援するため、研究開発のスペースとして貸研究室 22 室を設置している。

4.2.1 入居企業

◆ 貸研究室（令和 7 年度実績）

No.	入居者名	住所	分野	備考
1	（株）ＩＤレーザー	川口市	工業製品	
2	（株）アニモス	川口市	バイオ産業	
3	ケイワート・サイエンス（株）	川口市	工業製品	R8.1.31 退去
4	（株）ライブセルダイアグノシス	朝霞市	工業製品	
5	（一財）辨野腸内フローラ研究所	新座市	調査研究	2 室利用
6	RDG（株）	東京都江東区	工業製品	
7	ノンコード（株）	東京都千代田区	工業製品	
8	武蔵医研（株）	川口市	工業製品	2 室利用
9	（株）Kailas Robotics	川口市	工業製品	
10	（株）アクアイースター	さいたま市	工業製品	
11	佐竹マルチミクス（株）	戸田市	工業製品	4 室利用
12	インター・レガート（株）	三郷市	工業製品	
13	エムテック化学（株）	さいたま市	工業製品	
14	（株）天谷製作所	東京都中央区	工業製品	2 室利用
15	(株)グリーンエナジー	さいたま市	工業製品	
16	(株)アルファ・プロダクト	東京都江東区	工業製品	

4.2.2 支援実績

No.	支　援　内　容	利用企業数	利用件数
1	センター研究員による技術相談	5	54
2	インキュベーション・マネージャーによる経営相談	16	82
3	依頼試験の利用を通じた技術支援	4	18
4	試験研究機器の利用を通じた技術支援	6	70
5	試作加工室の提供	6	82
6	各種情報提供（セミナー、助成金、展示会など）	提供件数：27	

5　技術交流・連携

県内中小企業の技術交流を支援するとともに、近隣の鉱工業系公設試験研究機関との交流に努めた。また、講演会、審査会、各種会議等に職員を派遣した。

5.1　新技術情報交流支援（研究会・交流会の開催）

県内産業の技術力向上等を支援するため、各種研究会・交流会の事務局を担当した。

5.1.1　鋳物技術委員会

本委員会は本県鋳物工業の生産技術の向上を目的として設立され、鋳造技術コンクール、鋳造技術に関する講演会・講習会の内容の検討等を主な事業としている。なお、委員会は県依頼の委員 3 名、業界依頼の委員 4 名及び川口市職員 1 名、県職員 1 名の 9 名の委員にオブザーバー1 名の合計 10 名で構成する。

令和 7 年度は 2 回開催され、出席者は延べ 34 名であった。

			（敬称略）
（委員長）			
	ものつくり大学	名誉教授	鈴木 克美
（事務局）	埼玉県産業技術総合センター		材料技術・事業化支援室　材料技術担当
	川口鋳物工業協同組合		総務課

5.1.2　埼玉県熱処理技術研究会

本会は、熱処理関連企業の熱処理技術の向上を目的として昭和 44 年 6 月に設立され、講演会の開催、工場見学、会報の発行を主な事業としている。

令和 7 年度は、総会を 1 回、講演会を 1 回、講習会を 2 回及び発表会を 1 回開催し、参加者は延べ 97 名であった。

（会員数）　48 社

			（敬称略）
（役　員）			
	会　長	山方技術士事務所	山方 三郎
	副会長	（有）中村熱処理工業所	中村 賢一
	副会長	日新化熱工業（株）	横山 聡洋
（事務局）	埼玉県産業技術総合センター		材料技術・事業化支援室　材料技術担当

5.1.3　清酒製造技術研究会

県産清酒の品質向上、清酒の多様化に対応する品質設計、清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために研究会を開催した。

（会員数）　32 社

（事務局）　埼玉県産業技術総合センター北部研究所　食品･バイオ技術担当

(1) 新酒研究会

全国新酒鑑評会出品酒あるいは同等の清酒を出品酒と同様の条件で保管した後に官能評価する。保管による酒質変化を検討し、今後の出品管理の一助にする。併せて、きき酒能力の向上を図る。

実 施 日：　令和 7 年 5 月 8 日
出品点数：　16 点（8 場）
参 加 者：　10 名（7 場）

(2) 清酒研究会

清酒の多様化に対応する品質並びに清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために出品酒の官能評価を行い、製造管理及び貯蔵・出荷管理について検討する。また吟醸酒のきき酒を行い、酒質判定能力の向上を図る。

実 施 日：令和 7 年 9 月 9 日

出品点数：	吟醸酒の部	29 点	（11 場）
	純米吟醸酒の部	23 点	（12 場）
	純米酒の部	7 点	（ 5 場）

参 加 者： 16 名（14 場）

(3) 吟醸酒研究会

令和 6 酒造年度全国新酒鑑評会金賞受賞杜氏をパネラーとし、パネルディスカッション等を通じて吟醸酒造りの技術水準向上を図る。

実 施 日： 令和7年9月26日

参 加 者： 17 名（杜氏、酒造担当者）

パネルディスカッション：

「吟醸酒づくりの要点」

パネリスト	（株）釜屋	松沼　杜氏
	松岡醸造（株）	松岡　杜氏
	晴雲酒造（株）	吉原　杜氏
	五十嵐酒造（株）	小林　杜氏
	横田酒造（株）	須川　杜氏
	石井酒造（株）	中束　杜氏
	滝澤酒造（株）	滝澤　杜氏
	（株）矢尾本店	木村　杜氏

講　　話：「「やさしい」酒造りを目指して」

（敬称略）	埼玉県酒造組合	顧問	石渡 英和
	関東信越国税局鑑定官室	主任鑑定官	太田 萌

話題提供：「鑑評会マニュアル＆もろみエールの活用」

食品･バイオ技術担当

(4) 杜氏酒造研究会

清酒製造について本酒造年度における問題点を提起し、今後の酒造管理に反映させる。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質の判定能力の向上を図る。

実 施 日： 令和 8 年 3 月 19 日

参 加 者： 19 名（杜氏、酒造担当者）

きき酒研究会

個別指導： 食品・バイオ技術担当

話題提供：「吟醸酒の管理と出品について」

食品･バイオ技術担当

5.1.4 埼玉県デジタルものづくり研究会

AI・IoT 等テクノロジーの急激な進歩を背景に、県内中小企業は設計、試作プロセスのデジタル化による省力化、省資源化、形状最適化による製品の高付加価値化が求められている。本研究会では会員に 3D データを活用したデジタルものづくりについて、広く情報交換を行う場を提供する。

（会員数）　166 社

（開催実績）

デジタルものづくり講演会	令和 7 年 7 月 23 日	参加者 38 名
ものづくりへの X 線 CT スキャンの活用	令和 7 年 9 月 10 日	参加者 26 名
第 1 回デジタルものづくり見学会	令和 7 年 9 月 19 日	参加者 21 名
第 2 回デジタルものづくり見学会	令和 7 年 12 月 2 日	参加者 25 名

5.2 首都圏公設試験研究機関連携体（TKF）

首都圏の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することにより首都圏産業の活性化を図った。

5.2.1 首都圏公設試連携推進会議の開催（第 65 回）

令和 7 年 12 月 10 日(水)　埼玉県産業技術総合センター（担当：埼玉県産業技術総合センター）

5.2.2 パートナー・グループ事業

(1) TKF デザインパートナーグループ会議

専門技術分野の職員間の情報交流の場として、「デザインパートナーグループ」による会議を開催した。

年　月　日	場　　所	参　加　者
R8.2.19	渋沢ＭＩＸ	デザイン支援担当

5.2.3 ＴＫＦミニインターンシップ事業

研究員の相互派遣事業の実施により、支援技術力の向上や情報交換を図り、機関を超えて人材交流をした。

(1) 研究者派遣

派遣元の担当部署	派遣先機関	期間・人日	内容
材料技術担当	群馬県立産業技術センター	R7.7.15 2 人日	材料分析・評価
化学技術担当	(地独)東京都立産業技術研究センター	R7.7.16 3 人日※	材料分析・評価 ※2 施設
材料・機械技術担当	千葉県産業支援技術研究所	R7.7.28 1 人日	環境試験、強度試験
材料技術担当	新潟県工業技術総合研究所	R7.7.29 1 人日	材料分析・評価
材料技術担当	(地独)東京都立産業技術研究センター	R7.8.4 1 人日	材料分析・評価
材料技術担当	千葉県産業支援技術研究所	R7.8.12 2 人日	材料分析・評価
材料技術担当	群馬県立産業技術センター	R7.8.22 2 人日	環境試験
材料技術担当	(地独)東京都立産業技術研究センター	R7.9.18 2 人日	材料分析・評価
化学技術担当	山梨県産業技術センター	R7.10.2 1 人日	材料分析・評価
材料技術担当	(地独)東京都立産業技術研究センター	R7.10.3 3 人日	環境試験
化学技術担当	(地独)東京都立産業技術研究センター	R7.10.7 3 人日	材料分析・評価
食品プロジェクト担当	山梨県産業技術センター	R7.10.10 2 人日	食品・バイオ
化学技術担当	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	R7.11.5 3 人日	材料分析・評価

(2) 研究者受入

派遣元機関	受入担当部署	期間・人日	内容
千葉県産業支援技術研究所	機械技術担当、材料技術担当、材料技術・事業化支援室副室長	R7.8.7 4 人日	3D ものづくり

派遣元機関	受入担当部署	期間・人日	内容
群馬県立産業技術センター	機械技術担当	R7.8.22 1 人日	精密測定
群馬県立産業技術センター	化学技術担当	R7.9.9 2 人日	材料分析・評価
千葉県産業支援技術研究所	機械技術担当	R7.10.1 1 人日	成形加工
栃木県産業技術センター	機械技術担当	R7.10.28 1 人日	3D ものづくり
千葉県産業支援技術研究所	材料技術担当	R7.12.12 2 人日	環境試験
(地独)東京都立産業技術研究センター	材料技術担当	R7.12.12 7 人日	環境試験

5.3 広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）

首都圏の公設試が連携して実施する中小企業の海外展開支援サービスで、国際規格や海外の製品規格についての相談や情報提供、海外の製品規格に適合した評価試験について技術的な支援を実施するもので、平成 24 年 10 月 24 日（地独）東京都立産業技術研究センター内に開所した。令和 7 年度の当センターにおける支援実績と実施事業は以下のとおりである。

○ 支援実績

465 件　（機器利用・依頼試験を含む）

○ 連携会議の開催

令和 7 年 9 月 12 日（金）　書面開催

令和 7 年 12 月 10 日（水）　埼玉県産業技術総合センター

近年、輸出製品の高機能化や複数国への海外展開を目指す企業の増加などが顕著であり、また、製品安全性や環境負荷などの法規制強化が目まぐるしく、中小企業が求める支援が多種多様かつ複雑なものになってきている。そのため、中小企業への海外展開支援は、MTEP 運営機関が一律に同様のサービスを行うのではなく、地域や各機関の実情に合わせてサービスを行っていくことが適切と判断し、2026 年 3 月末日をもって MTEP を解散した。

5.4 RINGS NET（新潟、群馬、埼玉　3 県公設試連携）

新潟県、群馬県及び埼玉県の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することを目的に設立。その成果の一つとして、平成 24 年 5 月 1 日から、3 県に事業所を有する企業は、3 県の工業系公設試験研究機関をそれぞれの県内企業と同一の料金で利用することができるようにしている。

5.5 大学との連携

5.5.1 県内大学等との連携

教育研究に関する連携協定等を締結している県内大学等において、連携先大学等における客員教員として以下のとおり講義を行った。

期　間	大学名（学部・学科）	講義題目	回　数	講　師
R7.4～R8.3	埼玉大学理工学研究科	製品化プロセス特論 科学技術政策特論 電磁波測定特論	各32回	栗原 英紀 半田 隆志 森田 寛之

5.6 講演会等講師派遣

◆ 本 所

年月日	名　　称	会　　場	内　　容	講　師
R7.6.30	ヤングプロフェッショナル人材育成講座	日本規格協会	経済産業省・国際規格開発人材育成	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当 半田 隆志
R7.7.12	第4回先端技術・福祉用具合同フォーラム	オンライン	日本支援工学理学療法学会・ISO規格開発について	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当 半田 隆志
R7.10.14	ヤングプロフェッショナル人材育成講座	日本規格協会	経済産業省・国際規格開発人材育成	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当 半田 隆志
R8.1.22	新ビジネスにつながるロボット開発セミナー～アイデアを実現させよう！製品化・事業化編～	渋沢ＭＩＸ	主催：埼玉県・埼玉県産業振興公社 講演：「売れる商品づくりのためのデザインの視点」	デザイン支援担当 山下 貴央 濵口 大樹
R8.1.26	ヤングプロフェッショナル人材育成講座	日本規格協会	経済産業省・国際規格開発人材育成	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当 半田 隆志
R8.2.27	第104回情報交換会	ふれあいキューブ創業支援ルーム	主催：ふれあいキューブ 講演：「中小企業にこそ必要なデザイン」	デザイン支援担当 濵口 大樹

◆ 北部研究所

年月日	名　　称	会　　場	内　　容	講　師
R7.4.17 R7.4.24	令和7年度 彩の国酒造り学校	北部研究所	酒造等に関する講義	食品･バイオ技術担当 和田 健太朗 横堀 正敏
R7.5.14	令和7年度 彩の国酒造り学校	北部研究所	酒造等に関する講義	食品･バイオ技術担当 和田 健太朗
R7.5.12	さけ武蔵栽培検討会	滑川町役場	酒米についての講話	食品･バイオ技術担当 齋藤 健太
R7.6.18	令和7年度 彩の国酒造り学校	北部研究所	酒造等に関する講義	食品･バイオ技術担当 齋藤 健太
R7.8.27	令和7年度 彩の国酒造り学校	北部研究所	分析実習	食品･バイオ技術担当 樋口 誠一 横堀 正敏 齋藤 健太
R7.9.11	令和7年度 彩の国酒造り学校	北部研究所	酒造等に関する講義	食品･バイオ技術担当 樋口 誠一
R8.2.11	サーキュラーチャレンジウィーク　in 薩摩川内	SSプラザせんだい（鹿児島県薩摩川内市）	規格外「川越いも」を活用した地域循環経済の取り組み ～川越紅赤芋みつの誕生～	材料･機械技術担当 奥野　慎

5.7　技術評価等派遣

新製品開発等の補助金、企業の提案課題などの技術評価及びその他審査会等に職員を派遣した。

5.8　会議等への参加

◆　本 所

年月日	会　　議　　名	会　　場	担当部署
R7.4.15	ISO/TC173/SC1/CAG 会議	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.4.21	埼玉産業人クラブ 第 62 回定時総会・表彰式・懇親会	ロイヤルパインズホテル浦和	センター長
R7.4.25	日本福祉用具・生活支援用具協会、手動車椅子分科会および車椅子姿勢保持部会	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.4.25	ISO/TC173/SC1/WG1 会議	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.5.12	一般社団法人埼玉県経営者協会 平成 7 年度定時総会	パレスホテル大宮	センター長
R7.5.13	埼玉県鍍金工業組合 第 60 回通常総会懇親会	パレスホテル大宮	センター長
R7.5.14	公益社団法人さいしんコラボ産学官 第一回通常総会	パレスホテル大宮	センター長
R7.5.26	ライフサポート学会　理事・企画部会	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.5.27	産学連携支援ネットワーク会議（幹事会）	新都心ビジネス交流プラザ	企画担当 デザイン支援担当
R7.5.29	一般社団法人埼玉県経営合理化協会 令和 7 年通常総会	パレスホテル大宮	センター長
R7.6.9	日本福祉用具・生活支援用具協会、車椅子 JIS 改正委員会	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.6.9	南部地域振興センター 行政連絡会議	川口市映像･情報メディアセンター　メディアセブン	センター長
R7.6.10	第 89 回新加工技術専門委員会	オンライン	機械技術担当
R7.6.12～13	産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 第 36 回デザイン分科会	兵庫県立工業技術センター	デザイン支援担当
R7.6.16	埼玉大学産学官連携協議会 第２６回定期総会	ソニックシティビル４Ｆ市民ホール	センター長
R7.6.17	産技連高分子分科会 R7 第 1 回共同研究に関する関東ブロック担当者会議	オンライン	機械技術担当
R7.6.17	埼玉県プラスチックス振興会 第 58 回定期総会	埼玉会館	生産技術･事業化支援室長､機械技術担当
R7.6.17	産技連高分子分科会 R7 第1回共同研究に関する関東ブロック担当者会議	オンライン	機械技術担当
R7.6.18	日本福祉用具・生活支援用具協会、車椅子 JIS改正委員会	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当

年月日	会　　議　　名	会　　場	担当部署
R7.6.18～19	プラスチック成形加工学会 第36回年次大会	タワーホール船堀	機械技術担当
R7.6.19	産学連携支援ネットワーク会議（連絡会議）	新都心ビジネス交流プラザ	デザイン支援担当 企画担当
R7.6.23	東日本 FRP 工業会 総会・研修会・懇親会	ホテルブリランテ武蔵野	センター長
R7.6.25	日本福祉用具・生活支援用具協会、車椅子姿勢保持部会	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.7.3	彩の国女性研究者・技術者ネットワーク 第 1 回担当者連絡会	埼玉大学	企画担当
R7.7.9	表面技術協会会誌編集委員会	表面技術協会	化学技術担当
R7.7.22	埼玉県サーキュラーエコノミー推進分科会	コルソホール	化学技術担当
R7.7.24～25	第 98 回公立鉱工業試験研究機関長協議会総会	秋田キャッスルホテル	センター長
R7.7.29	ライフサポート学会　理事・企画部会	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.7.29	日本福祉用具・生活支援用具協会、 全身床ずれ防止用具 ISO 委員会	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.8.1	2026 年度精密工学会春季大会学術講演会 第 1 回実行委員会	オンライン	機械技術担当
R7.8.4	「彩の国 Komvux プラットフォーム」 全体会議	ビジネスプラザさいたま	副センター長
R7.8.11	川口鋳物工業協同組合 創立 120 周年記念式典・祝賀会	ロイヤルパインズホテル浦和	センター長
R7.8.26	日本福祉用具・生活支援用具協会、 車椅子姿勢保持部会	日本福祉用具・生活支援用具協会	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.10.1	日本福祉用具・生活支援用具協会、 TC173 国内対応委員会	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.10.8	車椅子自動車簡易固定コンソーシアム総会	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.10.9	埼玉産業人クラブ 上期役員会・懇談会・懇親会	ロイヤルパインズホテル浦和	センター長
R7.10.11～12	日本鋳造工学会 第１８６回全国公演大会	久留米シティプラザ	材料技術担当
R7.10.14	標準化と品質管理全国大会 2025	都市センターホテル	機械技術担当
R7.10.14	精密工学会 現物融合型エンジニアリング専門委員会 例会	東京大学工学部	機械技術担当
R7.10.16～17	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会　第 18 回音・振動研究会	地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター	機械技術担当
R7.10.22	Hexagon｜XCT｜VG User Conference	名古屋マリオットアソシアホテル	機械技術担当
R7.10.23	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会　高分子分科会	J:COM ホルトホール大分	機械技術担当
R7.10.29	ISO/TC 173/SC 1 会議	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当

年月日	会　　議　　名	会　　場	担当部署
R7.10.30～31	ISO/TC 173 会議	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.11.5	令和 7 年度 第 1 回 産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部会 企画調整分科会	オンライン	副センター長
R7.11.6～7	ISO/TC 173/SC 1/WG 11 会議	プルマンロトルア会議室（ニュージーランド）	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.11.10～12	プラスチック成形加工学会 第 33 回秋季大会	ポートメッセなごや	機械技術担当
R7.11.11	産技連　人間生活工学研究会	福井県工業技術センター	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.11.12	埼玉産業人クラブ 秋期特別講演会・懇親会	ロイヤルパインズホテル浦和	センター長
R7.11.12～14	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 第 29 回電磁環境分科会 第 34 回 EMC 研究会及びフィールドワーク	山形テルサ　3F　アプローズ 宮城県産業技術総合センター	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.11.13	公立鉱工業試験研究機関長協議会 第 9 回「知的財産に係る分科会」	オンライン	企画担当
R7.11.17	ヤンプロ合同研修会	日本規格協会	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.11.19	埼玉大学　人と協働するロボット研究会	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.11.19	ライフサポート学会　編集部会	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R8.11.20	産業技術連携推進会議ライフサイエンス部会 第 37 回デザイン分科会	オンライン	デザイン支援担当
R7.11.25	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 精密微細加工分科会・積層造形研究会	オンライン	機械技術担当
R7.11.26	埼玉大学　テクノカフェ	埼玉大学	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.11.27～28	産業技術連携推進会議　製造プロセス部会 第 31 回表面技術分科会	新都心ビジネス交流プラザ	材料技術担当
R7.11.28	日本福祉用具・生活支援用具協会、 全身床ずれ防止用具 ISO 委員会	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.12.2	開放特許を活用した学生アイデア発表会 in 埼玉（さいしんコラボ産学官）	さいしんホール	センター長
R7.12.3	日本福祉用具・生活支援用具協会、 車椅子国際標準分科会	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R7.12.3	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 計測分科会 形状計測研究会 前日ミーティング	エル・おおさか （オンライン参加含む）	機械技術担当
R7.12.4	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 計測分科会 形状計測研究会	エル・おおさか （オンライン参加含む）	機械技術担当
R7.12. 4	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 分析分科会年会	エル・おおさか （オンライン参加含む）	化学技術担当 材料技術担当
R7.12.4	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 計測分科会 温度・熱研究会	オンライン	機械技術担当

年月日	会　　議　　名	会　　場	担当部署
R7.12.5	産業技術連携推進会議 知的基盤部会　総会	エル・おおさか （オンライン参加含む）	化学技術担当 機械技術担当
R7.12.5	さきがけ「サステイナブル材料」	オンライン	機械技術担当
R7.12.10	第 64 回首都圏公設試連携推進会議 第 6 回広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）連携会議 令和 7 年度 産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域産業技術連携推進会議および関東甲信越静地域部会 合同総会	埼玉県産業技術総合センター	センター長 副センター長 企画担当
R7.12.11	CREST「分解と安定化」	オンライン	機械技術担当
R7.12.12	日本医療・環境オゾン学会　環境応用部会	ふれあい貸し会議室 品川	化学技術担当
R7.12.15	第 91 回新加工専門委員会	オンライン	機械技術担当
R7.12.19	精密工学会 現物融合型エンジニアリング専門委員会 先進研究施設見学会	大強度陽子加速器施設 J-PARC	機械技術担当
R8.1.7	川口商工会議所 会員賀詞交歓会	川口駅前市民ホール	センター長 副センター長
R8.1.8	一般社団法人 埼玉県経営者協会 令和 8 年新年会員懇談会	パレスホテル大宮	センター長
R8.1.17	川口鋳物工業協同組合　賀詞交歓会	ロイヤルパインズホテル浦和	センター長
R8.1.19	第 66 回 産業技術連携推進会議 総会	日比谷国際ビル コンファレンススクエア	センター長、企画・総務室副室長
R8.1.21	埼玉県鍍金工業組合 令和 8 年新年賀詞交歓会	パレスホテル大宮	センター長
R8.1.22	日本産業人クラブ連合会 「2026年　新春特別講演会／賀詞交歓会」	経団連会館	センター長
R8.1.23	日本弁理士会関東会　新年賀詞交歓会	パレスホテル大宮	副センター長
R8.1.28	日本福祉用具・生活支援用具協会、自動車への車椅子固定具 JIS 開発委員会	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R8.2.2	令和 7 年度埼玉県産業振興公社会員交流会	ソニックシティビル 4 F 市民ホール	副センター長
R8.2.2	環境科学国際センター講演会	埼玉会館	機械技術担当
R8.2.3	川口工業振興協議会 新年会	銀座アスター赤羽賓館	センター長
R8.2.4	埼玉県経営合理化協会年頭大会 及び賀詞交歓会	パレスホテル大宮	センター長
R8.2.9	埼玉産業人クラブ 新春経済講演会・賀詞交歓会	ロイヤルパインズホテル浦和	センター長
R8.2.12	令和 7 年度 第 2 回 産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部会 企画調整分科会	オンライン	副センター長
R8.2.13	CE による産業創出シンポジウム	さいたまスーパーアリーナ TOIRO(STUDIO 1,2)	機械技術担当
R8.2.17	埼玉県プラスチックス振興会 東日本プラスチック製品工業協会埼玉支部 令和8年合同新年会	埼玉会館	機械技術担当

年月日	会　　議　　名	会　　場	担当部署
R8.2.25	2026 年度精密工学会春季大会学術講演会 第3 回実行委員会	オンライン	機械技術担当
R8.2.25	ISO/TC173/SC1/CAG 会議	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R8.3.4	精密工学会 現物融合型エンジニアリング専門委員会 例会	オンライン	機械技術担当
R8.3.5	電気学会東京支部埼玉支所研究発表会	日本工業大学	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R8.3.9	さいたま市産業創造財団 令和 7 年度第 4 回理事会	さいたま市 産業文化センター	センター長
R8.3.9	ライフサポート学会　編集委員会	オンライン	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R8.3.13	埼玉県産学連携支援ネットワーク会議総会	新都心ビジネス交流プラザ	企画担当
R8.3.16	第 92 回新加工技術専門委員会	オンライン	機械技術担当
R8.3.16	電子情報通信学会　福祉情報工学研究会	筑波技術大学	電気･電子技術･戦略プロジェクト担当
R8.3.23	埼玉産業人クラブ 2025年度・下期役員会	ロイヤルパインズホテル浦和	センター長
R8.3.24	さいしんコラボ産学官 令和7年度会員企業表彰選考委員会	埼玉縣信用金庫 創業支援拠点 Anonect	センター長
R8.3.25	資源循環政策の動向	オンライン	機械技術担当
R8.3.26	第63回技術交流会 「セルロースナノファイバー配合樹脂の開発とシューズ用フォーム材への応用」	オンライン	機械技術担当
R8.3.31	川口商工会議所 新事務所内覧会及び披露パーティ	川口総合文化センター・リリア	センター長

◆　北部研究所

年月日	会　　議　　名	会　　場	担当部署
R7.4.22	関東甲信越 クラフトビアカンファレンス2025	関東信越国税局	食品･バイオ技術担当
R7.4.24	関東信越ワイン醸造研究会	関東信越国税局	食品･バイオ技術担当
R7.5.19	埼玉県酒造組合第７２回通常総会	大宮ソニックシティ	北部研究所長
R7.5.21	埼玉県漬物協同組合第５５回通常総会	シティフィールド籠原	北部研究所長
R7.5.23	埼玉県醤油工業協同組合第７８回通常総会	木曽路熊谷店	北部研究所長
R7.5.26	酒類総合研究所講演会	オンライン	食品･バイオ技術担当
R7.5.29	製造技術研究会	広島県立産業会館	食品･バイオ技術担当
R7.6.6	埼玉県吟友会通常総会、全員協議会	天沼ビル	食品･バイオ技術担当
R7.6.24	埼玉県食品工業協会第６１回通常総会	北部研究所	北部研究所長
R7.7.18	関東甲信越地区食品醸造研究会	栃木県産業技術センター	食品･バイオ技術担当

年月日	会　　議　　名	会　　場	担当部署
R7.9.12	さけ武蔵生産組合「刈取り講習会」	いるま野農業協同組合	食品･バイオ技術担当
R7.9.25	彩の国酒造り学校第 10 期卒業式	北部研究所	北部研究所長 食品･バイオ技術担当
R7.10.10	第70回全国酒造技術指導機関合同会議	中央合同庁舎 4 号館	食品･バイオ技術担当
R7.10.14	標準化と品質管理　全国大会 2025	都市センターホテル	総務･事業化･製品開発支援担当
R7.10.16	第 19 回埼玉酒蔵大試飲会	さいたまスーパーアリーナ	北部研究所長 副所長 食品･バイオ技術担当
R7.10.21	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部会 第 7 回関東技術交流分科会	山梨県立図書館	食品プロジェクト担当
R7.10.22	埼玉県食品工業協会情報交換会	北部研究所	食品･バイオ技術担当 食品プロジェクト担当
R7.11.13	第 96 回関東信越国税局酒類鑑評会 表彰式・技術研究会	さいたま新都心 合同庁舎 1 号館	北部研究所長 食品･バイオ技術担当
R7.11.14	令和 7 年度食品工業協会人材育成研修会	北部研究所	食品･バイオ技術担当 食品プロジェクト担当
R7.12. 4	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 分析分科会年会	エル・おおさか	材料・機械技術担当
R7.12.5	産業技術連携推進会議 知的基盤部会　総会	エル・おおさか	材料・機械技術担当
R8.1.20	埼玉県酒造組合新年賀詞交換会	ホテルブリランテ武蔵野	北部研究所長
R8.2.12	さけ武蔵生産組合 生産者会議	いるま野農業協同組合 （ＪＡいるま野） 第一営農販売センター	食品･バイオ技術担当
R8.3.13	産学官連携支援ネットワーク会議・総会	新都心ビジネス交流プラザ	総務･事業化･製品開発支援担当
R8.3.13	FAMIC令和 7 年度食品表示関係調査研究評価委員会	農林水産消費安全技術センター	食品プロジェクト担当

5.9 異業種交流支援事業

5.9.1 産学官交流プラザ

埼玉県技術交流プラザ終了企業を中心として発足し、技術及び経営等に関する情報交換等を行った。総会・役員会の開催は合計 6 回であった。また、講演会を 2 回、その他例会を行った。主な活動実績は次のとおりである。

会　長：　志村 廣幸　　（株）グランデ　代表取締役社長
会　員：　23 者

年月日	開催場所	内　　容（敬称略）
R7.4.14	埼玉県産業技術総合センター	埼玉県産学官交流プラザ役員会
R7.5.29	大宮ソニックシティ	埼玉県産学官交流プラザ役員会
R7.5.29	大宮ソニックシティ	総会 令和6年度事業報告、決算報告 令和7年度事業計画、予算計画 令和7年度役員の選任
R7.5.29	大宮ソニックシティ	埼玉県産学官交流プラザ第1回例会（講演会） 「生成AIの現状と展望：どう社会が変わっていくか」 講師：読売新聞社編集局 YD Pro 編集部 久保庭 総一郎
R7.6.16	埼玉県産業技術総合センター	埼玉県産学官交流プラザ役員会
R7.7.4	石坂産業（株）	埼玉県産学官交流プラザ第2回例会 （県内企業視察）
R7.8.26	埼玉県産業技術総合センター	埼玉県産学官交流プラザ役員会
R7.10.28	ENEOS(株)　根岸製油所	埼玉県産学官交流プラザ第3回例会 （県外視察）
R7.12.3	埼玉県産業技術総合センター	埼玉県産学官交流プラザ役員会
R8.2.13	大宮ソニックシティ	埼玉県産学官交流プラザ役員会
R8.2.13	大宮ソニックシティ	埼玉県産学官交流プラザ第 4 回例会（講演会） 「トランプ2.0を迎える 企業を取巻く経済環境の大枠」 講師：野村證券(株)営業企画部兼投資情報部 東 英憲

5.10 科学技術体験学習の実施

5.10.1 スーパーサイエンスハイスクール事業

スーパーサイエンスハイスクール指定校の学生に対してセンター職員が講義等を実施した。

(1) 埼玉県立浦和第一女子高等学校
1　開催日　　令和 7 年 12 月 17 日(水)
2　場　所　　埼玉県産業技術総合センター
3　参加者数　　1 年生 27 名
4　講義内容　　① 分光学的手法を用いた化学分析
② 電子顕微鏡での観察
③ 3D プリンタ体験学習
④ バイオプラスチックの熱分析
⑤ リチウムイオン電池ラミネートセルの作製
⑥ 大型 X 線 CT 装置による非破壊検査体験学習

(2) 川口市立高等学校
1　開催日　　令和 8 年 1 月 22 日(木)
2　場　所　　川口市立高等学校

3　参加者数　1 年生 20 名程度
4　講義内容　①　毒劇物を使用しない電解研磨技術の開発
②　「研究開発」は「真犯人逮捕」のようなものである。

5.11 埼玉県立高等技術専門校との連携による取組

当センターでの AI・IoT などの技術支援を高等技術専門校での人材育成に生かすため、以下の取組を行った。

5.11.1 特別講習会

高等技術専門校の生徒に対し、センター職員による DX 推進支援等についての講義及び施設の見学を行った。

○ 日時、参加人数

年月日	参加校・訓練科目	参加人数
R7.12.8	川口校　・情報処理科	24
R7.12.12	熊谷校　・機械科 川越校　・金属加工科 春日部校・金属加工科	11
R7.12.15	中央校　・機械制御システム科 川口校　・機械科	14

○ 講義内容

12 月 8 日　「SAITEC 概要、AI・IoT 導入支援事例」
12 月 12 日　「SAITEC 概要、3D データ及び 3D プリンタ活用支援事例」
12 月 15 日　「SAITEC 概要、3D データ及び 3D プリンタ活用支援事例」

○ 施設見学

AI・IoT 検証ラボ、3D プリンタ、3D スキャナ、大型 X 線 CT 装置、人工気象室、電波暗室等

5.12 関連機関等との連携強化

県内中小企業を支援する関連機関等に当センターの事業紹介や意見交換を行うなどにより連携を強化した。

(1) 商工団体

（一社）埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、（一社）埼玉県経営者協会、川口商工会議所、坂戸市商工会

(2) 金融機関

埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、川口信用金庫、飯能信用金庫

(3) その他団体

（独）ジェトロ埼玉、（公財）埼玉県産業振興公社、埼玉県よろず支援拠点、（一社）埼玉県中小企業診断協会、（公社）さいしんコラボ産学官、埼玉県 DX 推進支援ネットワーク会議、埼玉県産学連携支援ネットワーク会議、（公財）さいたま市産業創造財団、（公社）埼玉デザイン協議会、（公社）日本グラフィックデザイン協会

6 人材育成

県内中小企業等の人材を育成するため、研修生の受入れ等を行った。また、技術競技会における表彰を行った。

6.1 研修生の受入れ

6.1.1 中小企業等研究者養成研修事業

中小企業等の研究者及び技術者の資質の向上を図り、その技術力、研究開発力を強化することを目的として、研修生を受入れた。

◆ 本 所

期 間	派遣元	受入数（名）	研修数（日）	担当者
R7.7.31	製造業	3	1	機械技術担当
R7.9.17～9.19	埼玉大学	1	3	化学技術担当
R7.4.15～R8.2.26	神奈川大学	1	50	電気・電子技術・戦略プロジェクト担当
R7.8.12～R8.3.15	芝浦工業大学	1	40	電気・電子技術・戦略プロジェクト担当
本 所　　計		6	94	

◆ 北部研究所

期　　間	派遣元	受入数（名）	研修数（日）	担当者
R7.9.3～9.12	女子栄養大学	5	5	食品プロジェクト担当
北部研究所　　計		5	5	

◆ 合 計

	受入数（名）	研修数（日）
本　　所	6	94
北部研究所	5	5
合　　計	**11**	**99**

6.1.2 埼玉県庁インターンシップ事業

◆ 本 所

期　　間	機関名	受入人数	日　　数	担当者
R7.9.1～5	東京理科大学 信州大学	各 1	各 5	機械技術担当 材料技術担当
本 所　　計		2	10	

◆ 北部研究所

期　　間	機関名	受入人数	日　　数	担当者
R7.9.8～12	茨城大学 新潟大学	各 1	各 5	食品･バイオ技術担当
北部研究所　　計		2	10	

6.2 技術講習会、講演会等の開催

中小企業等の研究者や技術者に対し、技術講習会、講演会等を開催した。

(1) 主催事業

◆ 本 所

年月日	名　　称	会　　場	内容及び講師等（敬称略）	参加人数
R7.5.15	第61回埼玉県鋳造技術コンクール説明会	川口鋳物工業協同組合	1 開催要綱、採点要領と基準、鋳造調書の説明 2 課題の凝固解析について	21
R7.5.21	三次元CAD&CAE操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solid Works を使った CAD／CAE の操作体験 講師：(株) TEK　長谷山 良典 豊山 一教	5
R7.6.13	『デザイン』の必要性を探る デザイン経営セミナー	ソニックシティ会議室	デザイン経営、BtoC商品開発のノウハウやコツ、事業紹介（特許庁 田中晃洋、(株) ワイ・エス・エム 八島哲也、(株) ソルトコ 福島賢二）	22
R7.6.26	デザイン相談会	埼玉県産業技術総合センター	デザインに関する相談会	4
R7.6.27	デザイン相談会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	デザインに関する相談会	3
R7.7.17	第568回 埼玉県鋳物技術講演会	川口鋳物工業協同組合 （オンライン併用）	「 川口鋳物の歴史と現在について」 講師：川口市教育委員会 教育総務部　文化財課 主査　井出 祐史	44
R7.7.23	令和７年度デジタルものづくり講演会	埼玉県産業技術総合センター	1　「3Dスキャンによる”全体評価”のための技術発展 ～最新パターン投影ステレオカメラ方式という選択～」 丸紅I-DIGIOグループ　瀧 湧太朗 2　「X線CTとソフトウェアで実現する品質／生産性の向上 ～ものづくりの現場を変えるデジタル技術～」 Hexagon Manufacturing Intelligence(株)　木下 修平 3　「埼玉県デジタルものづくり研究会／デジタルものづくり機器の紹介」 埼玉県産業技術総合センター 機械技術担当 4　SAITEC設備見学	38
R7.7.24	デザイン力をいかした自社ブランドの作り方	川口商工会議所	商品化に向けたデザイン活用について 講師：デザイン支援担当	22
R7.7.25	3次元CAD&CAE 操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solid Works を使った CAD／CAE の操作体験 講師：(株) TEK　長谷山 良典 豊山 一教	2
R7.8.26	SDIC オープニングイベント	埼玉県産業技術総合センター	経済産業省の推進するデザイン施策、デザイン事例紹介、SDIC 紹介（経済産業省 中村純典、特許庁 菊池拓哉、(株) ワイ・エス・エム 八島哲也）	79

年月日	名　　称	会　　場	内容及び講師等（敬称略）	参加人数
R7.9.10	ものづくりへのX線CTスキャンの活用 ～スキャンデータの解析手法も紹介～	埼玉県産業技術総合センター	1　「埼玉県産業技術総合センターのX線CT装置紹介」 埼玉県産業技術総合センター 機械技術担当 2　基調講演「産業用CTスキャンとその応用の最新動向」 東京大学 大学院工学系研究科 /工学部 システム創成学科 准教授　長井 超慧 3　「X線CT装置と3Dデータの活用について」 Hexagon Manufacturing Intelligence(株)　舟橋 博幸 4　埼玉県産業技術総合センターのX線CT装置3機種見学 5　個別相談会	26
R7.9.11	デザイン相談会	渋沢MIX	デザインに関する相談会	2
R7.9.19	令和7年度第1回デジタルものづくり見学会 金属3Dプリンタの最前線 ～ワイヤ・レーザDED方式～	三菱電機（株） 東日本メカトロソリューションセンター	1　「ワイヤ・レーザDED 方式金属3Dプリンタご紹介」 三菱電機（株） 産業メカトロニクス製作所 本多 駿太 2　設備見学	21
R7.9.26	令和７年度 電磁ノイズ対策講習会	埼玉県産業技術総合センター	電磁ノイズ対策の基礎を教える講習会 講師：(株)電研精機研究所　平田　源二	40
R7.10.2	デザインブートキャンプ(Day1)	埼玉県産業技術総合センター	デザインに関するセミナー＆ワークショップ 講師：デザイン支援担当	16
R7.10.9	デザインセミナーin 渋沢MIX	渋沢MIX	デザインに関するセミナー 「デザインで変わる。中小製造業のためのブランディング入門」 講師：デザイン支援担当	24
R7.10.17	デザイン相談会	渋沢MIX	デザインに関する相談会	1
R7.10.23	デザインブートキャンプ(Day2)	埼玉県産業技術総合センター	デザインに関するセミナー＆ワークショップ 講師：経産省特許庁 菊池 拓哉	15
R7.10.24	3次元CAD&CAE操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solid Worksを使ったCAD／CAEの操作体験 講師：(株) TEK　　長谷山 良典 豊山 一教	5
R7.10.31	デザイン相談会	渋沢MIX	デザインに関する相談会	1
R7.11.6	デザインブートキャンプ(Day３)	埼玉県産業技術総合センター	デザインに関するセミナー＆ワークショップ「技術から始めるデザイン経営 BtoBの商品開発　ものづくりの基本」 講師：(株) ファシオネ 代表取締役　登 豊茂男	15
R7.11.13	デザインセミナーin 渋沢MIX	渋沢MIX	デザインに関するセミナー「中小企業にこそ必要な『デザイン経営』コア価値を言語化し、共感と共創を生む方法」 講師：ツールワークス（株） 代表取締役　黒田 靖史	14
R7.11.13	デザイン相談会	渋沢MIX	デザインに関する相談会	1

年月日	名　　称	会　　場	内容及び講師等（敬称略）	参加人数
R7.11.25	第61回記念埼玉県鋳造技術コンクール講評会・表彰式	埼玉県産業技術総合センター	内容：「第 61 回コンクール　講評」 講師：埼玉県鋳造技術コンクール 審査委員長　鈴木 克美 内容：「X 線 CT による評価について」 講師：材料技術担当	59
R7.12.2	令和7年度第2回デジタルものづくり見学会 金属3Dプリンタの最前線 ～L-PBF方式、パウダーDED方式金属3Dプリンタ～	（株）ニコン AM Technology Center Japan	・「L-PBF 方式、パウダーDED 方式金属 3D プリンタのご紹介」 （株）ニコン アドバンストマニュファクチャリング事業部 鳴嶋 弘明 ・設備見学	25
R7.12.4	デザインブートキャンプ(Day 4)	埼玉県産業技術総合センター	デザインに関するセミナー＆ワークショップ「魅力が伝わる 30 秒のストーリー　自社プロモーションでの動画活用」 講師：第 2 制作（株） 代表取締役　立石 賢司	12
R7.12.11	デザイン相談会	渋沢MIX	デザインに関する相談会	2
R7.12.18	中間報告会	ソニックシティ会議室	多角化支援事業の中間報告会	25
R7.12.25	デザイン相談会	渋沢MIX	デザインに関する相談会	2
R8.1.15	デザイン相談会	渋沢MIX	デザインに関する相談会	2
R8.1.29	デザイン相談会	渋沢MIX	デザインに関する相談会	1
R8.3.5	デザイン相談会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	デザインに関する相談会	1
R8.3.12	デザイン相談会	渋沢MIX	デザインに関する相談会	1
R8.3.13	3次元CAD&CAE 操作体験セミナー	埼玉県産業技術総合センター	Solid Works を使った CAD／CAE の操作体験 講師：（株）TEK　長谷山 良典 豊山 一教	11

◆　北部研究所

年月日	名　　称	会　　場	内容及び講師等（敬称略）	参加人数
R7.7.9	サーキュラーエコノミー普及セミナー	新都心ビジネス交流プラザ	・サーキュラーエコノミーの現在地とその行き先 講師：東京大学大学院 特任准教授 木見田 康治 ・金属部品製造時の端材を活用したアップサイクルビジネス 講師：（株）日伸精工 執行役員　内田 潔 ・エゴマ＆漬物の端材を活用した事業化支援事例（食の CE） 講師：食品プロジェクト担当	37
R8.2.10	北部研究所 研究成果発表会 ＆ 「デザイン思考」セミナー	北部研究所	・デザイン思考セミナー 講師：森 恵 ・研究成果発表会：6 テーマを発表 ほかに、ポスター展示、施設見学会、試験・醸造種の試飲	33

年月日	名　　称	会　　場	内容及び講師等（敬称略）	参加人数
R8.2.19 ～ 3.17	令和7年度 第2回サーキュラーエコノミー普及セミナー	YouTubeオンデマンド配信	「食」に関するサーキュラーエコノミーに関連したテーマを配信。 ・講師：農林水産省大臣官房 新事業・食品産業部 新事業・国際グループ　吉田 和樹 ・講師：農林水産省大臣官房 新事業・食品産業部 外食・食文化課　食品ロス・リサイクル対策室　　伊藤 那月 ・講師：(株) グリーンエース 代表取締役 中村 慎之祐 ・講師：fabula（株） 代表取締役 CEO 町田 紘太	65

(2) 支援事業

◆ 本 所

年月日	名　　称	会　　場	支 援 内 容 等（敬称略）	参加人数
R7.6.10	令和7年度 埼玉県熱処理技術研究会総会及び記念講演会	埼玉県産業技術総合センター	(1)通常総会 (2)記念講演 「IQ 処理と熱処理油最新動向および作業体制」 講師：出光興産（株）　杉浦 崇仁 東和興産（株）　早田 健太郎	26
(1)R 7.6.12 (2)R 7.6.19 (3)R 7.6.26	令和７年度 埼玉県熱処理技術一初級編一講習会	埼玉県産業技術総合センター	(1)内容：鉄鋼の性質と変態 講師：山方技術士事務所 山方 三郎 (2)内容：基本的熱処理 講師：山方技術士事務所 山方 三郎 (3)内容：鉄鋼材料の種類と熱処理法 講師：大野精工（株）　渡部 祐一	20
(1)R7.6.16 (2)R7.6.17 (3)R7.6.19	第261回 埼玉県鋳物技術講習会	オンライン及び川口鋳物工業協同組合	全体テーマ：鋳造技術の基礎知識 (1)題目：Part Ⅰ 講師：伊藤鉄工(株) 顧問 岡崎 清治 (2)題目：Part Ⅱ 講師：ものつくり大学 名誉教授　鈴木 克美 (3)題目：PartⅢ 講師：ものつくり大学 名誉教授　鈴木 克美	116
R7.7.3	令和7年度 埼玉県熱処理技術 一初級編一講習会	埼玉県産業技術総合センター	内容：表面硬化法 講師：松野技術士事務所 松野 和正	6
R7.9.25	ラズベリーパイで学ぶ！ 生成AIプログラミング体験研修	埼玉県産業技術総合センター	Raspberry Pi を使用した IoT 導入のノウハウ・効果を体験する研修	15
R7.11.14	川口商工会議所ものづくりプラットフォーム事業「デザインイノベーションセンター施設見学・説明会」	埼玉県産業技術総合センター	(1)サイテックの技術支援・デザイン支援についての説明 (2)施設見学（デザインイノベーションセンター、３Ｄプリンタ、スキャナ等）	11

年月日	名　　称	会　　場	支 援 内 容 等（敬称略）	参加人数
R７.11.27	令和7年度 埼玉県熱処理技術研究会実践型熱処理技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	内容：「マグネシウムとその合金の特性と成形加工」 講師：職業能力開発総合大学校 大川 正洋 内容：「鋳鉄の熱処理 ～オーステンパー～など組織改良あれこれ」 講師：ものづくり大学　鈴木 克美	24
(1)R8.2.5 (2)R8.2.12	第262回 埼玉県鋳物技術講習会	川口鋳物工業協同組合 （オンライン併用）	全体テーマ 「水性塗型剤の基礎と最新情報」 (1)講師：ASK ケミカルズジャパン（株） 代表取締役社長　南波 洋 花王クエーカー（株） 豊橋研究室　　竹村 晃一 (2)講師：(有)フォセコ・ジャパン・リミテッド 製品開発課 塗型製品グループ課長 岡田 卓也 岡崎鑛産物（株） 技術開発課 課長 松林 佑	68
R8.3.19	令和7年度 埼玉県熱処理技術研究会第30回熱処理発表会	埼玉県産業技術総合センター	内容：「効果的な工場の省エネ化に向けた取組について」 講師：オリエンタルエンヂニアリング（株）　菊地 巧 内容：「浸炭焼入れサンプルの表面炭素濃度測定・監視について」 講師：(株) オーネックス 東松山工場　　和田 健司 内容：「「熱」の脱炭素化に不可欠な都市ガスのカーボンニュートラル化」 講師：東京ガスケミカル（株） 佐々木 太郎 内容：「常圧アセチレン浸炭について」 講師：(株) 日本テクノ 鈴木 芳明	21

※熱処理技術研究会は、5.1 新技術情報交流支援（研究会・交流会の開催）に再掲。

◆　北部研究所

年月日	名　称	会　　場	支 援 内 容 等	参加人数
R7.5.8	第1回清酒製造技術研究会（新酒研究会）	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	きき酒、ディスカッション	10
R7.7.18	第2回清酒製造技術研究会（市販清酒研究会）		県外の人気のある市販清酒の人気の理由を探る	40
R7.9.9	第3回清酒製造技術研究会（清酒研究会）		吟醸酒、純米吟醸酒、純米酒の審査	16
R7.9.26	第4回清酒製造技術研究会（吟醸酒研究会）		パネルディスカッション、講話等	17
R8.3.19	第5回清酒製造技術研究会（杜氏酒造研究会）		1　きき酒研究会、個別指導 食品･バイオ技術担当 2　話題提供「吟醸酒の管理と出品について」 食品･バイオ技術担当	19

※清酒製造技術研究会は、5.1 新技術情報交流支援（研究会・交流会の開催）に再掲。

6.3 技術競技会

6.3.1 埼玉県鋳造技術コンクール

(1) 第 61 回埼玉県鋳造技術コンクール

鋳造技術の向上は、企業個々の不断の努力と研鑽が重要であり、昨今の諸外国の追い上げや経済環境の急激な変化等によりその重要性は益々高くなってきている。

埼玉県鋳造技術コンクールは、鋳物製造技術の更なるレベルアップを目的に埼玉県と川口鋳物工業協同組合が共同開催しており、今年で 61 回目になる。課題を設定し高品質かつ正確に作ることを競っている。

今回は、ねずみ鋳鉄部門 10 作品、球状黒鉛鋳鉄部門 12 作品の参加で行われ、入賞した作品の製作者は次のとおりであった。

受賞者一覧

◆ ねずみ鋳鉄部門

賞　　名	事業所名	受賞者（敬称略）
埼玉県知事賞	不二工業（株）	スベディ サナム
川口鋳物工業協同組合理事長賞	（株）マスセイ	佐藤 芳秋
川口市長賞	富和鋳造（株）	国井 和幸
一般社団法人日本鋳造協会会長賞	（株）テクノスセキグチ	齋藤 嘉一
一般財団法人素形材センター会長賞	（株）大六鋳造	齊藤 洋

◆ 球状黒鉛鋳鉄部門　（敬称略）

賞　　名	事業所名	受賞者（敬称略）
埼玉県知事賞	（株）大六鋳造	ホンダ フジモト ハビエル アルマンド
川口鋳物工業協同組合理事長賞	（株）朝倉鋳物	ムハマッド アディブ ロマドニ
川口市長賞	（株）朝倉鋳物	シギット マルタント
川口商工会議所会頭賞	富和鋳造（株）	村松 知明
埼玉鋳物技能士会会長賞	永井機械鋳造（株）	中村 俊哉

(2) 第 14 回鋳造技術コンクール（軽合金）

川口鋳物工業協同組合と川口鋳物技術センターの主催、埼玉県の後援により軽合金部門（アルミニウム合金）のコンクールが行われた。今年で 14 回目となり、11 作品の参加により競われた。出品作品の評価は、審査委員が鋳造方案（鋳造品の作り方）の適切さ、製品の出来栄え、材質、強度特性、歩留り（全鋳込み重量に対する製品部の重量比）の高さ、化学分析などの観点から行われ、入賞した作品の製作者は次のとおりであった。

受賞者一覧

賞　　名	事業所名	受賞者　（敬称略）
川口鋳物工業協同組合理事長賞	（株）飯田合金鋳造所	大山 隆
川口市長賞	（株）飯田合金鋳造所	FEBRYAN EDDY RISTIYAANTO
埼玉県産業技術総合センター長賞	（株）小口合金鋳造所	但木 正己

6.3.2　**令和 7 酒造年度春季清酒鑑評会**

令和 8 年 3 月 18 日に北部研究所で審査会を実施した。出品点数　61 点（17 場）

県産清酒の酒質の向上と醸造技術の改善を図り、業界の発展のため鑑評会を行う。最も優秀な成績を収めた酒造会社及び杜氏に埼玉県知事賞を、それに準ずる成績を収めた酒造会社及び杜氏に埼玉県産業技術総合センター北部研究所長賞を授与し、その他で一定の基準を満たし優良であった酒造会社及び杜氏を入賞とした。

令和 7 酒造年度春季清酒鑑評会受賞者（組合員名簿順、敬称略）

◆　埼玉県知事賞

酒　造　場　名	酒　銘	杜 氏 名
（株）釜屋	力　　士	松沼　宏顕

◆　埼玉県産業技術総合センター北部研究所長賞

酒　造　場　名	酒　銘	杜 氏 名
滝澤酒造（株）	菊　　泉	滝澤　英之

◆　入賞

酒　造　場　名	酒　銘	杜 氏 名
晴雲酒造（株）	晴　　雲	吉原　卓夫
横田酒造（株）	日　本　橋	須川　照彬
（株）東亜酒造	晴　　菊	丸山　浩克
寒梅酒造（株）	寒　　梅	鈴木　隆広

7　情報提供

当センターの利用を促進し、業務の成果・結果などを公表するため、SAITEC オープンラボ等の開催・各種印刷物の発行やウェブサイト上での情報発信を行った。また、記者発表等を行うことにより、各種メディアに取り上げられた。

7.1　技術普及業務

7.1.1　SAITEC オープンラボ

当センターの研究・事業成果の展示・発表及び、連携機関（(公財）埼玉県産業振興公社、連携公設試験研究機関、埼玉大学）の取組紹介などを県内企業等に向けて行った。

○　日　　時　　令和 7 年 10 月 16 日（木）　10:00～16:50

○　会　　場　　埼玉県産業技術総合センター

○　開催内容

SAITEC 及び連携公設試験研究機関の研究成果発表、基調講演、デザイン相談、知的財産相談、SAITEC 及び連携機関の成果展示、施設見学会

■研究成果発表

SAITEC 職員による発表　　7 テーマ　［内容は 3.3.1 項を参照］

連携公設試験研究機関からの発表　　3 テーマ　（東京都、神奈川県、千葉県）

■講演（敬称略）

テーマ　「行為のデザイン」から考えるリージョナルデザイン

～自社の商品開発力を高め、地域産業振興に寄与するためのデザイン経営手法とは？

公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会　　理事長　村田　智明

■ 施設見学会（3 コース　43 名参加）

○　来場者数　84 名

7.1.2　SAITEC 北部研究所研究・支援成果発表会

当研究所の研究・支援成果の発表を行った。併せて、「デザイン思考セミナー」を開催した。

○　日　　時　　令和 8 年 2 月 1 0 日(火)　13：30～16：05

○　会　　場　　埼玉県産業技術総合センター北部研究所 3 階講堂

○　開催内容

■「デザイン思考」セミナー（敬称略）

講　演　テーマ：「食とデザイン ～デザイン思考で、もっとおいしく？もっと売れる！～」

講　師：MORI CRAFT　　森 恵

■SAITEC 北部研究所研究成果発表会（14：50～16：05）

発表①　　テーマ：「埼玉県乳酸菌ライブラリーの構築」

発表②　　テーマ：「ビール醸造に適した酵母の探索」

発表③　　テーマ：「AI 活用によるコメの品質の予測」

発表④　　テーマ：「酸味に特徴のある新規埼玉酵母による清酒製造試験」

発表⑤　　テーマ：「高灰分ストリーム粉の応用による麺製品の高付加価値化の検討」

発表⑥　　テーマ：「全自動透湿度計の実用化」

■施設見学会

○　参加者数　33 名

7.1.3　研究報告

研究報告　第 23 巻（令和 6 年度）　　令和 8 年 3 月発行（Web 上）

7.2 利用促進

7.2.1 業務報告

令和 6 年度　業務報告　令和 7 年 12 月発行（Web 上）

7.2.2 インターネットによる技術情報の提供

(1) ウェブページ

当センターのインターネットウェブページで主に以下の内容について情報提供した。

- 平成 15 年度～令和 6 年度研究報告
- 依頼試験の案内、機器利用の案内、機器操作技術認定研修の日程
- 貸会議室、貸研究室
- 研修会、講演会等開催の案内
- 他機関の各種支援情報
- セミナー、講習会情報
- 新規導入機器の紹介

(2) メールマガジン

県内中小企業の新技術・新製品の開発を支援するため、当センターに関連する産業情報をメールマガジンにより迅速に発信した。

発行回数　：　16 回（定期発行 12 回　臨時発行 4 回）

(3) インターネット技術相談

電子メールによる「インターネット技術相談窓口」には 3,038 件の問い合わせがあった。

7.2.3 記者発表

年月日	タ　イ　ト　ル
R7.6.12	「サーキュラーエコノミー普及セミナー」の参加者募集！ ～ 具体例から考えるサーキュラーエコノミーのとりくみ“処方箋” ～
R7.6.27	「デジタルものづくり講演会」の参加者を募集
R7.8.5	「電磁ノイズ対策講習会」の参加者を募集 - 電子機器が受ける電磁ノイズへの体制を向上させる方法を解説 -
R7.8.6	「SAITEC デザインイノベーションセンター」を開設します - デザインで企業の課題解決を支援 -
R7.9.29	「令和 7 年度 SAITEC(サイテック)オープンラボ」参加者募集！ - 「デザイン経営」をテーマとした講演会を開催 -
R7.12.4	「SAITAMA デザイナーズバンク」を開設しました！ - そのお困りごと、デザイナーに相談してみませんか？ -
R8.1.28	産業技術総合センター（SAITEC）北部研究所 「デザイン思考」セミナー ＆ 研究成果発表会の参加者募集！
R8.2.6	埼玉の技術×デザインの力。開発中の商品を披露目します！ -デザインを活用した BtoB から BtoC への多角化支援-

7.2.4 **マスメディア報道**

(1) 新聞報道

年月日	新 聞 名	内　　容
R7.4.12	埼玉新聞	彩の国酒造り学校開講式　熊谷、10 人が杜氏目指す
R7.5.26	日刊工業新聞	新センター長の就任に伴い経歴や将来展望をインタビュー
R7.5.30	日刊工業新聞	「県幹部に聞く」”中小企業の「稼げる力の向上」を推進”
R7.8.23	日本経済新聞	SAITEC デザインイノベーションセンター オープン
R7.8.27	埼玉新聞	SAITEC デザインイノベーションセンター オープン
R7.9.5	日刊工業新聞	SAITEC デザインイノベーションセンター　オープン
R7.9.5	埼玉新聞	SAITEC デザインイノベーションセンター オープンに関するインタビュー
R7.10.2	日刊工業新聞	オープンラボ開催
R7.10.9	埼玉新聞	オープンラボ開催
R7.11.27	日刊工業新聞	埼玉県特集 第 47 回埼玉県産業振興懇談会
R7.12.8	埼玉新聞	中小企業の商品開発支援　デザイナーズバンク開設

(2) その他雑誌報道

年月日	雑誌名	内容
R7.5.1	アクセス埼玉 5 月号 No.338	リーダー☆インタビュー 株式会社トコウ 代表取締役・斗光 健一 氏 （H21 の専門家派遣事業について言及）
R7.8.26	テレビ埼玉(ニュース 530)	SAITEC デザインイノベーションセンターについて
R7.8.26	テレビ埼玉(ニュース 930)	SAITEC デザインイノベーションセンターについて
R7.10.1	アクセス埼玉 10 月号 No.343	サーキュラーエコノミー普及セミナー報告
R7.10.1	彩の技術士(月刊『技術士』2025 年 10 月号同送 こうほう第 26 号)	技術士合格者のご紹介
R7.12.1	埼玉りそな経済情報 12 月号	ものづくり企業から頼られる SAITEC を目指して
R7.12.1	アクセス埼玉 12 月号	SAITEC デザインイノベーションセンター
R8.1.8	(一社)日本金型工業会機関誌『金型 KANAGATA』 No.203 新年(冬)号	金型製造における X 線 C T 装置活用のメリット
R8.2	日本工業出版(株)・月刊誌『機械と工具』(2026 年 2 月号)	機関誌『金型 KANAGATA』No.203 の転載
R8.3.1	商工埼玉 vol785	企業とデザイナーをつなぐ SAITAMA デザイナーズバンク

8　運営委員会

8.1　運営委員会の開催

埼玉県産業技術総合センターの事業・研究業務の効果的な運営を図るため、外部有識者からなる「埼玉県産業技術総合センター運営委員会」を開催し、業務内容等を検討した。

8.1.1　開催状況

◆　令和 7 年度産業技術総合センター運営委員会

1　日　時　　令和 8 年 3 月 19 日（木）

2　場　所　　埼玉県産業技術総合センター　5 階交流サロン

3　議　題　　「SAITEC の企業支援概要と本年度の活動実績について」

4　参加人数　　運営委員　7 人　　埼玉県　11 人　　計 18 人

5　運営委員　（50 音順、敬称略）

埼玉大学	理事・副学長	石井 昭彦　（委員長）
不二工業（株）	代表取締役社長	入野 純一
大起理化工業（株）	代表取締役	大石 正行
（国研）産業技術総合研究所	研究戦略本部 地域部 次長	大花 継頼
（株）河村屋	代表取締役社長	染谷 静香
（株）東立製作所	代表取締役社長	松川 晃代
女子栄養大学	名誉教授	三浦 理代